

弘前大学農学生命科学部

研究業績目録

2010年10月 – 2011年9月

Lists of Published Research Works of the Faculty of Agriculture and Life Science
Hirosaki University
2010 (October) – 2011 (September)

弘前大学農学生命科学部

2012年2月

Faculty of Agriculture and Life Science

Hirosaki University

Hirosaki 036 – 8561, Japan

February, 2012

は し が き

本号の「研究業績目録」には、2010年10月から2011年9月までの業績を掲載しました。業績の区分は、a－研究論文、b－学術図書、c－その他の著書・訳書、d－学会発表、e－調査・実験報告書、f－その他、とし、各自の申請に基づいています。各学科の教員組織（2011年9月30日現在）は以下の通りです。

生物学科

（基礎生物学コース）

石田幸子，葛西身延，黒尾正樹，鮫島正純，福澤雅志，大河 浩，吉田 渉

（生態環境コース）

佐原雄二，杉山修一，東 信行，石田 清，城田安幸，烏丸 猛

分子生命科学科

（生命科学コース）

石黒誠一，菊池英明，橋本 勝，姫野倭太，牛田千里，高田 晃，畠山幸紀

（応用生命コース）

大町鉄雄，片方陽太郎，宮入一夫，園木和典，殿内暁夫，吉田 孝

生物資源学科

（食料開発コース）

石川隆二，柏木明子，千田峰生，戸羽隆宏，原田竹雄，前多隼人

（生産環境コース）

青山正和，赤田辰治，佐野輝男，田中和明，比留間潔，藤田 隆，松山信彦

園芸農学科

（園芸農学コース）

荒川 修，鈴木裕之，張 樹槐，川崎通夫，本多和茂，前田智雄，松崎正敏
福地 博，田中紀充

（食農経済コース）

神田健策，渋谷長生，石塚哉史，泉谷眞実，武田共治，吉仲 怜

地域環境工学科

泉 完，工藤 明，佐々木長市，高橋照夫，檜垣大介，萩原 守，藤崎浩幸
角野三好，加藤 幸，遠藤 明

生物共生教育研究センター

伊藤大雄，姜 東鎮，松本和浩，房 家琛

目 次

| | |
|--------------|----|
| 生物学科 | 29 |
| 基礎生物学コース | 29 |
| 生態環境コース | 30 |
| 分子生命科学科 | 34 |
| 生命科学コース | 34 |
| 応用生命コース | 37 |
| 生物資源学科 | 41 |
| 食料開発コース | 41 |
| 生産環境コース | 44 |
| 園芸農学科 | 48 |
| 園芸農学コース | 48 |
| 食農経済コース | 53 |
| 地域環境工学科 | 55 |
| 生物共生教育研究センター | 58 |

業 績 目 録

【生物学科】

【基礎生物学コース】

石田 幸子

- a-01. 石田幸子・西谷信一郎*・吉田 渉・K. D. Kuznedelov**・佐藤雅彦***: 利尻島における *Phagocata* 属プラナリア 2種の初記載一種の同定・核型分析・18S rDNA の部分配列の比較— 利尻研究 (30): 75-82, 2011. (*大阪箕面東高校, **Waksman Insti., Rutgers Univ., ***利尻博物館)
- d-01. 石田幸子・吉田 渉・西谷信一郎・K. D. Kuznedelov・佐藤雅彦: 分子系統樹・核型・形態から推察した本邦産淡水棲プラナリアの種分化及び移住経路. (社)日本動物学会第82回大会(旭川), 2011.
- d-02. 岡野大輔・石田幸子: 多岐腸類ウスヒラムシにおける腸管の構造と再生時の分裂細胞の分布変化の解析. (社)日本動物学会第82回大会(旭川), 2011.
- d-03. 西谷信一郎・吉田 渉・石田幸子: 淡水棲プラナリアの一種, カズメウズムシの染色体進化. (社)日本動物学会平成23年度東北支部大会(弘前大学), 2011.

葛西 身延

- d-01. 高橋 渉・葛西身延: 花のシンク器官除去と光合成およびプロトンポンプ活性制御. 第75回日本植物学会, 2011.
- f-01. Kasai, M: Regulation of leaf photosynthesis through photosynthetic source-sink balance in soybean plants. *Soybean Physiology and Biochemistry (InTech)*, in press.

黒尾 正樹

- a-01. Zheng, Y., R. Peng, M. Kuro-o, X. Zeng: Exploring patterns and extent of bias in estimating divergence time from mitochondrial DNA sequence data in a particular lineage: a case study of salamanders (Order Caudata). *Mol. Biol. Evol.*, 28: 2521-2535, 2011.
- a-02. Eda, M., H. Koike, M. Kuro-o, S. Mihara, H. Hasegawa, H. Higuchi: Inferring the ancient population structure of the vulnerable albatross *Phoebastria albatrus*, combining ancient DNA, stable isotope, and morphometric analyses of archaeological samples. *Conserv. Genet.*, DOI: 10.1007/s10592-011-0270-5, 2011.

鮫島 正純

- b-01. 鮫島正純: 蒸着法および凍結技法の各章(共著). 電顕入門ガイドブック改訂版. [社]日本顕微鏡学会電子顕微鏡技術認定委員会編. 2011. 4. 25.
- d-01. 鮫島正純・近藤洋志: Gアクチン/脂肪滴複合体構成分子の検索. 日本顕微鏡学会第67回学術講演会. (福岡市) 2011. 5. 16-18.
- d-02. 鮫島正純・近藤洋志・福澤雅志: 細胞性粘菌休眠胞子の巨大Gアクチン複合体. 日本植物形態学会第23回大会(東京)2011. 9. 160.
- d-03. 鮫島正純: アクチンのリン酸化と高次構造体構築に依存した細胞性粘菌の胞子成熟. 日本植物形態学会賞受賞記念講演会. 日本植物形態学会第23回大会(東京)2011. 9. 160.
- d-04. 鮫島正純・近藤洋志・福澤雅志: 細胞性粘菌の休眠胞子に特異的な脂肪滴/Gアクチン複合体構成成分の解析. 日本植物学会第75回大会(東京)2011. 9. 16-18.
- d-05. 高松里依・鮫島正純・福澤雅志: 過剰発現によりミトコンドリアが巨大化する細胞性粘菌の新奇ミトコンドリア蛋白質. 日本植物学会第75回大会(東京)2011. 9. 16-18.

福澤 雅志

- a-01. Fukuzawa, M.: Control of prestalk-cell differentiation by transcription factors. *Dev Growth Differ*, 53, 538-547, 2011.
- d-01. 鮫島正純・近藤洋志・福澤雅志: 細胞性粘菌休眠胞子の巨大Gアクチン複合体. 日本植物形態学会第23回大会

(東京)2011. 9. 16.

- d-02. 鮫島正純・近藤洋志・福澤雅志：細胞性粘菌の休眠胞子に特異的な脂肪滴 /G アクチン複合体構成成分の解析. 日本植物学会第75回大会(東京)2011. 9. 16-18.
- d-03. 高松里依・鮫島正純・福澤雅志：過剰発現によりミトコンドリアが巨大化する細胞性粘菌の新奇ミトコンドリア蛋白質. 日本植物学会第75回大会(東京)2011. 9. 16-18.
- d-04. Hiroshi Senoo, Satoshi Kuwana, Naoko Kogawa and Masashi Fukuzawa. Epigenetic differentiation of prestalk cells in growing *Dictyostelium* cells. 第44回発生生物学会年会(沖縄), 2011.
- f-01. Hiroshi Senoo and Masashi Fukuzawa. Epigenetic differentiation of prestalk cells in growing *Dictyostelium* cells. 奈良先端技術大学院大学セミナー(奈良), 2011. 4. 6.

大河 浩

- a-01. Ohkawa, H., Hashimoto, N., Furukawa, S., Kadono, T. and Kawano, T. (2011) Forced symbiosis between *Synechocystis* sp. PCC 6803 and apo-symbiotic *Paramecium bursaria* as an experimental model for evolutionary emergence of primitive photosynthetic eukaryotes. *Plant signaling & behavior* 6: 773-776.
- d-01. Jin, Y., Tanaka, Y. and Ohkawa, H. (2011) Production of transgenic plants with introduced cyanobacteria transporter gene and its characterization. The 52th Annual meeting of the Japanese Society of Plant Physiologists.
- d-02. 大河 浩 (2011) トマトの炭素代謝から見た C/N 分配における塩ストレスの影響. 公益財団法人ソルトサイエンス研究財団 第23回助成研究発表会.
- d-03. 田中康史・神 祐太・川崎通夫・大河 浩 (2011) ラン色細菌プロトン放出輸送体タンパク質過剰発現形質転換植物の生理生長解析. 第75回日本植物学会.
- e-01. 大河 浩：稲盛財団助成報告書, 2011.
- e-02. 大河 浩：ソルトサイエンス研究財団助成報告書, 2011.

吉田 渉

- a-01. Schärer, L.*, Littlewood, D. T. J. **, Waeschenbach, A.*, Yoshida, W. D. B. Vizoso *: Mating behavior and the evolution of sperm design. *Proc. Natl. Acad. Sci. USA.*, 180: 1490-1495, 2011. (*Univ. of Basel, **Natural History Museum)
- a-02. 石田幸子・西谷信一郎*・吉田 渉・Konstantin D. Kuznedelov**・佐藤雅彦***：利尻島における *Phagocata* 属プラナリア2種の初記載 一種の同定・核型分析・18S rDNA の部分配列の比較— 利尻研究 30: 75-82. 2011. (*大阪府立箕面東高等学校, **Limnological Institute SD RAS, ***利尻町立博物館)
- a-03. Yoshida, W., Ishida, S., Ono, K.*, Izumi, S.*, K. Hasegawa*: Developmental styles and larval morphology of hybridized sea cucumbers (Echinodermata: Holothuroidea). *Invertebrate Reproduction & Development*. (in press) 2011. (*Aomori Fishers Technology Center)
- d-01. 石田幸子・吉田 渉・西谷信一郎*・Konstantin D. Kuznedelov**・佐藤雅彦***：分子系統樹・核型・形態から推察した本邦産淡水棲プラナリアの種分化及び移住経路. 第82回日本動物学会, (旭川) (*大阪箕面東高校, **Waksman Insti., Rutgers Univ., ***利尻博物館) 2011.
- f-01. 吉田 渉：ナマコ増養殖研究の現状について—ナマコ沿岸域養殖技術開発— 平成23年度あおもりナマコブランド化協議会(青森市)2011.

【生態環境コース】

佐原 雄二

- d-01. 三浦さやか・佐原雄二：低酸素条件でのモツゴの水面呼吸 (ASR) と捕食者の影響. 日本動物行動学会第29回大会(那覇市), 2010.
- d-02. 佐原雄二・石岡奈々子：モツゴ当歳魚の成長と水中の低酸素. 日本魚類学会2011年度年会(弘前大学), 2011.
- d-03. 井上貴裕・佐原雄二：河川感潮域に生息するメダカ *Oryzias latipes* の潮汐周期活動. 日本魚類学会2011年度年会(弘前大学), 2011.

杉山 修一

- a-01. Eusufzai MK, Tokida T, Okada M, Sugiyama S, Liu, GC Miyuki Nakajima, M and Ryoji Sameshima R: Methane emission from rice fields as affected by land use change. *Agriculture, Ecosystems and Environment* 139 : 742-748. 2010.
- a-02. Hossain M.Z. and Sugiyama S.: Influences of plant litter diversity on decomposition, nutrient mineralization and soil microbial community structure. *Grassland Science* 57:72-80. 2011.
- a-03. Wagdi S, Fujimori M., Tase, K and Sugiyama S.: Oxidative stress and physiological damage under prolonged heat stress in C3 grass *Lolium perenne*. *Grassland Science* 57:101-106. 2011.
- a-04. Hossain M.Z. and Sugiyama S.: Geographical pattern of soil bacterial and fungal community in northern Japan: influences of distance, vegetation and soil properties. *European J. Soil Biology*. 47:88-94. 2011.
- a-05. Eusufzai MK, T. Tokida, S. Sugiyama, M. Nakajima and R. Sameshima: Effect of rice straw application on CH₄ emission in continuous and recently converted paddy fields. *J. Agric. Meteorol.* 67:185-192. 2011.
- c-01. 杉山修一：周縁効果他5項目 生物学事典 東京化学同人 2011.
- d-01. Wagdi S, Sugiyama S.: Difference in heat tolerance between C3 and C4 species and tolerance to oxidative stress 日本草地学会2011年度大会 2011.

東 信行

- a-01. 工藤誠也・渡邊泉・東信行：発生地および分散パターンの特定を目的としたスカシバガ類2種の体内元素濃度分析, *Lepidoptera Science*, Vol.62, 135-141.
- b-01. 東 信行：弘前市史(分担執筆), 698 pp.
- d-01. 宮下太輔・東 信行：メダカ (*Oryzias latipes*) 個体群における遊泳速度の緯度クライム, 第58回日本生態学会大会.
- d-02. 工藤誠也・渡邊 泉・東 信行：分散パターン解明を目的としたスカシバガ類の生体内微量元素分析, 第58回日本生態学会大会.
- d-03. 井上博元・野田香織・渡邊 泉・東 信行：微量元素分析を用いたオオクチバスの生息地推定, 第58回日本生態学会大会.
- d-04. 井上博元・野田香織・渡邊 泉・東 信行：微量元素を用いた津軽地方の溜池に生息するオオクチバスの生息地判別, 第20回環境化学討論会.
- d-05. 河野冬樹・渡邊 泉・神山智昭・東 信行・野田香織：カジカを用いた青森県岩木川流域の重金属汚染のモニタリング, 第20回環境化学討論会.
- d-06. 松島祐樹・秋山太一・渡邊 泉・東 信行：やんばる生態系における微量元素の生物蓄積, 第20回環境化学討論会.
- d-07. 鎌田帆南・佐藤 臨・羽根田雄斗・東 信行：安定同位体から見た岩木川下流ヨシ原における食物網 — 草原棲小型鳥類を中心に, 2011年度日本鳥学会大会.
- d-08. 村元寛子・笠井亮秀・東 信行：カジカ大卵型の炭素・窒素安定同位体比を指標とした岩木川水系の物質循環の変化, 2011年度日本魚類学会年会.
- d-09. 茂古沼佑介・出村国光・大竹二雄・渡邊 泉・東 信行：耳石及び筋肉組織の微量元素分析を用いた汽水湖十三湖における魚類の移動履歴と生息場利用, 2011年度日本魚類学会年会.
- d-10. 出村国光・茂古沼佑介・東 信行：十三湖におけるヤマトシジミに対する魚類の捕食圧について, 第15回応用生態工学会.
- d-11. 石崎陽子・東 信行：微量元素を用いた三春ダム生息魚類の生息地判別, 第15回応用生態工学会.

石田 清

- b-01. 鈴木節子・戸丸信弘・石田 清：希少樹種の現状と保全：保全のための課題と対策. 森林総合研究所第2期中期計画成果23 (ISBN: 978-4-902606-79-9): 20-21. 2011.
- d-01. 石田 清・鈴木節子・玉木一郎・肥後陸輝・木佐貫博光・平山貴美子・戸丸信弘：準絶滅危惧種シデコブシの現状と今後. 第58回日本生態学会大会(札幌), 2011.
- d-02. 井上みずき・久米 篤・智和正明・上原佳敏・石田 清：性比・開花率の集団間変動に影響を与える湿地の栄養塩環境：雌雄異株クローナル植物ヤチヤナギ. 第58回日本生態学会大会(札幌), 2011.
- d-03. 玉木一郎・鈴木節子・石田 清・戸丸信弘：シデコブシ集団の存続に集団のサイズと隔離が及ぼす影響. 第122

回日本森林学会大会(静岡), 2011.

- d-04. 庄司 優・石田祐宣・伊藤大雄・石田 清・M.L. Lopez C.・高橋啓太・戎 信宏・高瀬恵次・中北英一・田中賢治・山口弘誠: 白神山地ブナ林におけるブナ林の二酸化炭素フラックス観測. 日本農業気象学会大会(鹿児島), 2011.
- d-05. 鈴木節子・石田 清・戸丸信弘: シデコブシの雌性繁殖成功と訪花昆虫の関係. 中部森林学会大会(石川), 2011.

城田 安幸

- b-01. 城田安幸: なぜ, 白神山地からサルたちは里におりてきたのか? (26-30pp) 白神学入門-改訂版(弘前大学白神自然環境研究所) 2011年3月.
- d-01. 城田安幸・畠山正光・工藤裕一・重友 薫: 未熟果実入りリンゴジュースを飲んだ3世代目マウスは迷路学習能力が向上する. 日本動物行動学会, 第29回沖縄大会, 2010年11月.
- d-02. 城田安幸: 海野和男さん, 村田泰隆さんらとハワイにカメハメハアカタテハを求めて. 日本昆虫学会東北支部, 第45回青森県昆虫談話会, 2010年12月.
- d-03. 城田安幸・菅野清孝・斎藤 礁: 無農薬りんご園の害虫管理(7) 未熟果実を7月中下旬に収穫することを3年間続けることで, 「放任園」のモモシクイガ個体群密度を10分の1に減少できた. 第55回日本応用動物昆虫学会大会, 2011年3月.
- d-04. 城田安幸: Anti-tumor effects of *Malus domestica* (11) Apple juice with immature fruits improves mentality of people with cancer. 「りんご(*Malus domestica*)の抗腫瘍効果(11) 未熟果実入りのリンゴジュースはがん罹病者の精神状態を改善する」. 日本癌学会 第70回総会, 2011年10月.
- f-01. 城田安幸: ヒトのナチュラルキラー活性を高め, 血糖値を下げる, 未熟果実入りリンゴジュース「医果同源」と, 医果同源で作った発泡酒「アップルブリュー」. アグリビジネス創出フェア2010出展, 農林水産省主催, 千葉県幕張メッセ特設会場会場, 2010年11月.
- f-02. 城田安幸: ヒトのNK活性を高め血糖値を下げる未熟果実入りリンゴジュース, 『研究・技術プレゼンテーション』. アグリビジネス創出フェア2010プレゼン発表, 農林水産省主催, 千葉県幕張メッセ特設会場, 2010年11月.
- f-03. 城田安幸: 目玉模様の進化の研究からリンゴで免疫賦活剤ができた!. FMアップルウエーブ「りんご王国こうぎょくカレッジ」, 2011年2月20日.
- f-04. 城田安幸: 目玉模様の進化の研究からリンゴで免疫賦活剤ができた!. FMアップルウエーブ「りんご王国こうぎょくカレッジ」(再放送), 2011年2月27日.
- f-05. 城田安幸: 「大学は美味しい!! フェア」 in 高島屋大阪店 出展. 「大学は美味しい!! フェア実行委員会/小学館DIME」主催, 大阪「大阪タカシマヤ」会場, 2011年3月.
- f-06. 城田安幸: 「津軽百年のど飴」で挑む 弘大・城田准教授と武内製飴所(青森)コラボ. 陸奥新報, 2011年3月11日.
- f-07. 城田安幸: 「百年のど飴」共同で商品化 弘大・城田准教授と武内製飴所(青森). 東奥日報, 2011年3月20日.
- f-08. 城田安幸: 「医果同源」に新製品 城田弘大准教授 都内フェアで披露. 陸奥新報, 2011年9月17日.
- f-09. 城田安幸: 「第4回大学は美味しい!! フェア」出展. 「大学は美味しい!! フェア実行委員会/小学館DIME」主催, 東京「新宿高島屋」会場, 2011年9月.

鳥丸 猛

- a-01. T. Torimaru, U. Wennström, D. Lindgren, X-R Wang: Effects of male fecundity, interindividual distance and anisotropic pollen dispersal on mating success in a Scots pine (*Pinus sylvestris*) seed orchard. *Heredity*, in press: 2011.
- a-02. S.-I. Yamamoto, N. Nishimura, T. Torimaru, T. Manabe, A. Itaya, K. Becek: A comparison of different survey methods for assessing gap parameters in old-growth forests. *For. Ecol. Manage.*, 246: 886-893, 2011.
- a-03. A. Shimono, X.-R. Wang, T. Torimaru, D. Lindgren, B. Karlsson: Spatial variation in local pollen flow and mating success in a *Picea abies* clonal archive and their implications for a novel "breeding without breeding" strategy. *Tree Genet. Genomes.*, 7: 499-509, 2011.
- d-01. 鳥丸 猛・佐野淳之・永松 大・戸丸信弘・西村尚之・山本進一: 鳥取県大山ブナ老齢林における主要構成樹種3種の稚樹の個体群構造の比較. 日本生態学会第58回大会(北海道大学), 2011.

- d-02. 稲永路子・有馬千弘・永松 大・鳥丸 猛・西村尚之・戸丸信弘：大山ブナ老齢林における母性解析によるブナの種子散布パターンの解明. 日本生態学会第58回大会(北海道大学), 2011.
- d-03. 西村尚之・星野大介・清野達之・杉田久志・鳥丸 猛：御岳亜高山帯常緑針葉樹林における主要3樹種の稚樹の出現パターンと更新環境の不均一性. 日本生態学会第58回大会(北海道大学), 2011.

【分子生命科学科】

【生命科学コース】

石黒 誠一

- a-01. Ozaki, T., Yamashita, T., Ishiguro, S.: Ca²⁺-induced release of mitochondrial m-calpain from outer membrane with binding of calpain small subunit and Grp75. *Archives of Biochemistry and Biophysics* 507: 254-261, 2011.
- d-01. 尾崎 拓, 反町洋之, 秦 勝志, 山下哲郎, 中澤 満, 石黒誠一: Synthetic mu-and m-calpain peptides inhibit mitochondrial calpain-dependent AIF truncation. 第84回日本生化学会大会(京都), 2011.
- d-02. 齊藤佳奈, 尾崎 拓, 山下哲郎, 中澤 満, 石黒誠一: 新規カルパイン阻害ペプチドによるアポトーシス誘導因子 AIF 依存性細胞死の抑制. 第82回日本動物学会大会(旭川), 2011.

菊池 英明

- a-01. Ebina M., Shibazaki M., Kudo K., Kasai S., and Kikuchi H.: Correlation of Dysfunction of Nonmuscle Myosin IIA with Increased Induction of Cyp1a1 in Hepa-1 cells. *Biochim. Biophys. Acta*, **1809**: 176-183, 2011.
- a-02. Kawauchiya T., Takumi R., Y., Takamori A., Sasagawa T., Takahashi K. and Kikuchi H.: Correlation between the destruction of tight junction by patulin treatment and increase of phosphorylation of ZO-1 in Caco-2 human colon cancer cells. *Toxicology Letters* **205**: 196-202, 2011.
- a-03. K. Kudo, T. Takeuchi, Y. Murakami, M. Ebina and H. Kikuchi, Analysis of the region of the aryl hydrocarbon receptor required for ligand dependency of transactivation. *Cytochrome P450, Biochemistry, Biophysics and Drug Metabolism* (in press).
- d-01. Kudo K., Takeuchi T., Murakami Y., Ebina M., Kikuchi H.: Analysis of the region of the aryl hydrocarbon receptor required for ligand dependency of transactivation. 17th International Conference on Cytochrome P450. (Manchester) 6. 26-30, 2011.
- d-02. Shimoyama S., Eriko S., Kasai K. and Hideaki K.: Function of Sp1 and CREMtau in induction of CYP1A1 in human HepG2 cells. 7TH DUESSELDORF SYMPOSIUM ON IMMUNOTOXICOLOGY, Biology of the Arylhydrocarbon Receptor, (Duesseldorf) 9. 21-24, 2011.
- d-03. 川内谷知子・高森章子・内匠 涼・高橋衡平・菊池英明: カビ毒パツリンによる大腸癌細胞株 Caco-2 のタイトジャンクション崩壊機構. Destruction mechanism of tight junction by mycotoxin, patulin in colon cancer cell-line, Caco-2. 第33回日本分子生物学会年会(神戸), 2010.
- d-04. 蝦名真行・柴崎晶彦・工藤恭子・葛西秋宅・菊池英明: Inhibition of depletion of Nonmuscle myosin IIA leads to enhancement of Cyp1a1 induction by TCDD in Hepa-1 cells. 第33回日本分子生物学会年会(神戸), 2010.

橋本 勝

- a-01. S. Noguchi, S. Takemoto, S. Kidokoro, K., Yamamoto, M. Hashimoto. "Syntheses of cellotriose and cellotetraose analogues as transition state mimics for mechanistic studies of cellulases", *Bioorg. Med. Chem*, **19**, 3812-3830 (2011).
- a-02. N. Akiyama, S. Noguchi, M. Hashimoto, "Stereochemical differentiation in the Simmons-Smith reaction for cyclopropanated glucopyranose derivatives as molecular probes for glycosidases", *Biosci. Biotech. Biochem*, **75**, 1380-1382 (2011).
- a-03. Zaharenko, A.; Picolo, G.; Ferreira, W.; Murakami, T.; Kazuma, K.; Hashimoto, M.; Cury, Y.; de Freitas, J.; Konno, K., "Bunodosine 391: a new analgesic acylamino acid from the venom of the sea anemone *Bunodosoma cangicum*", *J. Nat. Products*, **74**, 378-382 (2011).
- a-04. Wilanfranco T. C.; Honma, M.; Kanamaru S.; Noguchi, S.; Tanaka, K.; Nehira, T.; Hashimoto, M., "Stereochemical investigations of isochromenone and isobenzofuranone isolated from *Leptosphaeria* sp. KTC 727", *J. Nat. Products*, **74**, 425-429 (2011).
- d-01. 田邊直也, 石森 歩, 野口翔悟, 八木橋優希, 橋本 勝, 抗シロアリ剤への応用を目指したセルラーゼ阻害剤の開発, 日本農芸化学会東北支部145回大会(仙台).
- d-02. Wilanfranco C. Tayone, Miho Honma, Masaru Hashimoto, Novel isochroman and isobenzofuran from *Leptosphaeria* sp., 日本農芸化学会東北支部145回大会(仙台).

- d-03. 橋本 勝, 金丸沙樹, 工藤慎士, 対馬太郎, 本間美保, 村上貴宣, 根平達夫, 二瓶賢一, *Pleospora* sp. の生産するナフトキノン誘導体の立体化学, 第52回天然有機化合物討論会(静岡).
- d-04. 石川祥代, 橋本 勝, 宮入一夫, 白絹菌 *Sclerotium rolfsii* 由来ペクチンエステラーゼのMS/MS分析による作用様式の解析, 日本農芸化学会東北支部・北海道支部合同支部大会(仙台).
- d-05. M. Hashimoto, S. Kudo, C. Ohama, T. Murakami, N. Takada, T. Okuno, Y. Harada, Lambertellols and Lambertellin in Mycoparasitism between *Lambertella* spp. and *Monilinia fructigena.*, 2010 International Chemical Congress of Pacific Basin Societies (Honolulu, oral presentation).
- d-06. W. C. Tayone, S. Shindo, T. Okada, E. Kogawa, K. Tanaka, M. H. ashimoto, N. Takada, Conformational Analysis and Structure Determination of Novel Polyketide from *Ophiobolus* sp., 2010 International Chemical Congress of Pacific Basin Societies (Honolulu, oral presentation).
- d-07. M. Honma, S. Kudo, N. Takada, K. Tanaka, T. Miura, M. Hashimoto, Novel Neofusapyrones Isolated from *Verticillium dahliae* as Potent Antifungal Substances., 2010 International Chemical Congress of Pacific Basin Societies (Honolulu, poster presentation).
- d-08. Y. Yagihashi, T. Murakami, N. Takada, K. Tanaka, M. Hashimoto, Isolation, Structure Determination, Biosynthesis, and Synthetic Studies of Spiroleptosol, 2010 International Chemical Congress of Pacific Basin Societies (Honolulu, poster presentation).
- d-09. S. Kanamaru, S. Kudo, T. Tsushima, K. Nihei, T. Nehira, T. Okuno, M. Hashimoto, Stereochemistry of Alterporriols, 2010 International Chemical Congress of Pacific Basin Societies (Honolulu, poster presentation).
- d-10. T. Nehira, S. Kanamaru, K. Nihei, M. Hashimoto, Absolute Stereochemistry of Natural 1, 2, 3, 4-tetrahydroxynaphthoquinones, 2010 International Chemical Congress of Pacific Basin Societies (Honolulu, poster presentation).
- d-11. S. Noguchi, S. Takemoto, S. Kidokoro, M. Hashimoto, Design and Synthesis of Cellulose Analogues Mimicking the Transition State Structure. 2010 International Chemical Congress of Pacific Basin Societies (Honolulu, poster presentation).
- d-12. 秋山菜奈子, 野口翔悟, 橋本勝, シクロプロパンを有するセルラーゼ遷移状態モデルの合成研究, 日本農芸化学会2011年度大会(京都, 大会は東日本大震災のため中止, 発表は成立).
- d-13. 金丸沙希, 工藤慎士, 対馬太郎, 本間美保, 村上貴宣, 根平達夫, 二瓶賢一, 橋本勝, *Pleospora* sp. の生産するナフトキノン誘導体の立体化学, 日本農芸化学会2011年度大会(京都, 大会は東日本大震災のため中止, 発表は成立).
- d-14. W. C. Tayone, M. Honma, S. Kanamaru, S. Noguchi, K. Tanaka, T. Nehira, M. Hashimoto, Novel isochromanone and isobenzofuranone from *Leptosphaeria* sp., 日本農芸化学会2011年度大会(京都, 大会は東日本大震災のため中止, 発表は成立).
- d-15. 本間美保, 野口翔悟, 田中和明, 紺野勝弘, 橋本 勝, 抗菌性デプシペプチドの単離と構造決定, 日本農芸化学会2011年度大会(京都, 大会は東日本大震災のため中止, 発表は成立).
- d-16. 金丸沙樹, 根平達夫, 橋本 勝, *Pleospora* sp. から単離した altersolanol 類の構造決定, 第6回化学生態学研究会(2011.06.17 函館).
- d-17. 野口翔悟, 山本和範, 田邊直哉, 竹本晋太郎, 城所俊一, 橋本 勝, セルラーゼ反応機構解明を目指した反応遷移状態アナログオリゴ糖の合成と評価, 第53回天然有機化合物討論会(2011.09.28, 大坂).
- d-18. 橋本 勝, リンゴ果実における *Lambertella* によるマイコパラサイト現象の有機化学, 静岡大学(2011.04.22, 招待講演).
- d-19. 橋本 勝, リンゴ果実における *Lambertella* によるマイコパラサイト現象の有機化学, 財団法人相模中央化学研究所農薬セミナー(2011.01.06, 招待講演).
- d-20. 橋本 勝, リンゴ果実における *Lambertella* によるマイコパラサイト現象の有機化学, 北海道大学農学部(2011.01.13, 招待講演).
- d-21. 橋本 勝, リンゴ果実における *Lambertella* によるマイコパラサイト現象の有機化学, 筑波大学(2011.02.08, 招待講演).

姫野 倭太

- a-01. Himeno, H.: Novel factor rescues ribosomes trapped on non-stop mRNAs. *Mol. Microbiol.* **78**, 789-791, 2010.
- a-02. Goto, S., Kato, S., Kimura, T., Muto, A., Himeno, H.: RsgA releases RbfA from 30S ribosomal subunit during a

- late stage of ribosome biosynthesis. *EMBO J.* **30**, 104-114, 2011.
- a-03. Kurita, D., Muto, A., Himeno, H.: tRNA/mRNA mimicry by tmRNA and SmpB in *trans*-translation. *J. Nucleic Acids*, 2011, Article ID 130581, 2011.
- b-01. 渡辺公綱, 姫野俵太: 生命化学 II 第2版 - 遺伝子の働きとその応用 -, 丸善, 2011.
- b-02. Himeno, H., Kurita, D., Muto, A.: *Trans*-translation by tmRNA and SmpB: a bacterial quality control system of translation. In Kevin V. Urabano Ed., *Advances in Genetics Research - Vol.6*, 161-203, Nova Science Publishers Inc, 2011.
- d-01. 姫野俵太, 栗田大輔, 宇根理高, 武藤あきら: tRNA/mRNAハイブリッドと tRNA/mRNA擬態タンパク質による *trans*-translation, 第33回日本分子生物学会年会・第83回日本生化学会大会合同年会, 2010.
- d-02. Kurita, D., Une, M., Muto, A., Himeno, H.: Molecular mechanism of the early stage of *trans*-translation. ISNAC2010 (37th International Symposium on Nucleic Acids Chemistry). Yokohama, 2010.
- d-03. Goto, S., Muto, A., Himeno, H.: A GTPase dissociates a ribosome binding factor from the 30S subunit during a late stage of the bacterial ribosome biosynthesis, RNA2011 (The 16th Annual Meeting of the RNA Society), Kyoto, 2011.
- d-04. Kurita, D., Hattori, Y., Muto, A., Himeno, H.: Molecular mechanism of the early stages of *trans*-translation by tmRNA/SmpB, RNA2011 (The 16th Annual Meeting of the RNA Society), Kyoto, 2011.
- d-05. Tarusawa, T., Hase Y., Goto, S., Muto, A., Himeno, H.: Loss of integrity of the ribosome confers salt resistance on *Escherichia coli* cells, RNA2011 (The 16th Annual Meeting of the RNA Society), Kyoto, 2011.
- d-06. Himeno, H., Kurita, D., Muto, A.: Molecular mechanism of *trans*-translation mediated by tmRNA/SmpB. IUMS2011 (Internal Union of Microbiological Society 2011 Congress), Sapporo, 2011 (Invited).
- d-07. 樽澤武房, 長谷要一, 武藤あきら, 姫野俵太: 大腸菌におけるリボソーム関連因子欠損株による塩ストレス耐性の獲得, 第5回に本ゲノム微生物学会若手の会, 御殿場, 2011.
- f-01. 姫野俵太: The 3rd International Symposium on Protein Community 「タンパク質の社会」領域主催国際会議 (ISPC-NARA2010) パート I, Protein Community, Vol.7, 20-22, 2011.
- f-02. 姫野俵太, 牛田千里: 「東日本大震災関連情報②」, 日本 RNA 学会会報, No. 24, p7, 2011.
- f-03. 姫野俵太: 科研費の採択に向けて, 平成23年度第2回弘前大学科学研究費助成事業 (科研費) 説明会, 2011.

牛田 千里

- b-01. 牛田千里, 藤原俊伸: 「Small subunit processome」, 生体の科学, 第62巻5号, 418-419ページ.
- b-02. 牛田千里, 藤原俊伸: 「核小体タンパク質フィブリラリン」, 生体の科学, 第62巻5号, 420-421ページ.
- d-01. Ushida, C., Ono, T., Saito, R., Osanai, Y., Shindo, Y., Kaneko, N., Kawai, G., Kiyosawa, H.: Expression of Small RNAs, with 50-100 nt Length, from the Loci of the Sense-Antisense Transcription in Mouse Genome. RNA2011 (The 16th Annual Meeting of the RNA Society and The RNA Society of Japan 13th Annual Meeting) (Kyoto), 2011.
- d-02. Kihara, S., Kato, A., Sato, K., Shimawaki, Y., Ushida, C.: Spatiotemporal expression patterns of *C. elegans* sbRNAs. RNA2011 (The 16th Annual Meeting of the RNA Society and The RNA Society of Japan 13th Annual Meeting) (Kyoto), 2011.
- d-03. Kawai, G., Ushida, C., Kiyosawa, H.: Clustering and Structural Analysis of Small RNAs, with 50-100 nt Length, from the Loci of the Sense-Antisense Transcription in Mouse Genome. RNA2011 (The 16th Annual Meeting of the RNA Society and The RNA Society of Japan 13th Annual Meeting) (Kyoto), 2011.
- d-04. 牛田千里・河合剛太・清澤秀孔: マウス SAT 領域から転写される 50-100 nt 長の ncRNA 候補について, 第10回新しい ncRNA/RNP を見つける会 (沖縄), 2011.
- d-05. 木原真哉・加藤新・佐藤洋旭・島脇瑛子・牛田千里: 線虫 Y RNA と sbRNA の発現が示す初期胚での RNA ポリメラーゼ III 活性制御の可能性, 第10回新しい ncRNA/RNP を見つける会 (沖縄), 2011.
- d-06. 河合剛太・牛田千里・清澤秀孔: マウス SAT 領域から発現する 50-100 残基 RNA のクラスタリングと構造解析, 第84回日本生化学会大会 (京都), 2011.
- d-07. Yoshida, T., Shimane, T., Kawaguchi, T., Fujiwara, S., Sugawara, Y., Ushida, C., Kawai, G. Structural analysis of a non-coding RNA, CeR-5, found in *C. elegans*. 第50回NMR討論会 記念国際シンポジウム ISNMR 2011 (横浜), 2011.
- f-01. 牛田千里 (発明者): 「低分子 RNA の分析方法」, 特許第 4599555 号, 2010.

高田 晃

畠山 幸紀

- d-01. 畠山幸紀：動物標本の高解像度画像を用いた教育用 Web コンテンツの作製：大学所蔵資料の教育活用. 日本動物学会東北支部大会 (弘前大学), 2011.
- d-02. 畠山幸紀：高速 LAN で可能となる教育用 Web サイトの開発に関する研究～高解像度生物標本画像アーカイブの製作. 弘前大学総合情報処理センター研究開発成果発表会 (弘前大学), 2011.

【応用生命コース】

大町 鉄雄

- a-1. Tanaka, T., Shima, Y., Ogawa, N., Nagayama, K., Yoshida, T. Ohmachi, T.: Expression, identification and purification of *Dictyostelium* acetoacetyl-CoA thiolase expressed in *Escherichia coli*. *Int. J. Biol. Sci.* **7**: 9-17, 2011.
- a-2. Ochiai, H., Takeda, K., Fukuzawa, M., Kato, A., Takiya, S., Ohmachi, T.: Protein kinase B homologue *pkbRI* performs one of its roles at first finger stage of *Dictyostelium*. *Eukaryotic Cell* **10**: 512-520, 2011.
- d-1. 大久保春華・岡野充男・長山耕己・大町鉄雄：細胞性粘菌における α -MPP のプロセッシングに関与する新規プロテアーゼについて, 第 33 回日本分子生物学会年会・第 83 回日本生化学会大会 (合同大会) (神戸) 12 月.

片方 陽太郎

- a-01. Matsui Y., Sugiyama K., Kamei M., Takahashi T., Suzuki T., Katagata Y. and Ito T.: Extract of passion fruit (*Passiflora edulis*) seed containing high amounts of piceatannol inhibits melanogenesis and promotes collagen synthesis. *J. Agri. Food Chem.*, **58**, 1112-11118 (2010).
- a-02. Goto M., Ito S., Kato Y., Yamazaki S., Yamamoto K., Katagata Y.: Anti-aging effects in hairless mouse of extracts prepared from salmon nasal cartilage. *Molecular Medicine Report*, **4**, 779-784 (2011).
- a-03. Yamazaki S., Uchiumi A. and Katagata Y.: Hsp40 regulates the amount of keratin proteins via ubiquitin-proteasome pathway in cultured human cells. *Int. J. Mol. Med.*, **29**, 165-168 (2012).
- a-04. Maeda H., Yamazaki M. and Katagata Y.: Kuromoji (*Lindera umbellata*) essential oil-induced apoptosis and differentiation in human leukemia HL-60 cells. *Exp. Therapeu. Med.*, **3**, 49-52 (2012).
- a-05. Uchiumi A., Yamashita M., Katagata Y.: Downregulation of Keratins 8, 18, and 19 influences invasiveness of human cultured squamous cell carcinoma and adenocarcinoma cells. *Exp. Therapeu. Med.*, **3**, 443-448 (2012).
- a-06. Ito M., Mikami M., Nakamura K., Terada K. and Katagata Y.: Confirmation of useful elements aside from polyphenols in apple seed. *Food Function*, (2012) in press.
- a-07. 片方陽太郎：りんご剪定枝の霊芝培地としての利用, 「未利用バイオマスとしてのりんご剪定枝の活用戦略」増補改訂版, 泉谷眞美編著, pp. 55-65, (2011)
- a-08. 前多隼人, 片方陽太郎：クロモジの生理作用, *Aroma Research*, **12** (3), 244-5 (2011).
- d-01. Katagata Y., Yamazaki S. and Uchiumi A.: Hsp40 regulates cell specific expression of keratin molecules at epidermal keratinization in cultured human cells. The 35th Annual Meeting of the Japanese society for Investigative dermatology, Wakayama, 2010. 12. 3-5.
- d-02. 山崎祥他, 内海愛里, 山下麻美子, 片方陽太郎：Cytokeratin に対する Hsp40 の新機能探索に関する研究. 第 83 回日本生化学会・日本分子生物学会大会, 2010. 12. 7-10 神戸.
- d-03. 内海愛里, 山崎祥他, 山下麻美子, 片方陽太郎：ヒトの皮膚の細胞分化に伴うケラチンペアに関する研究. 第 83 回日本生化学会・日本分子生物学会大会, 2010. 12. 7-10 神戸.
- d-04. 山崎真央, 前多隼人, 中田辰夫, 内沢秀光, 片方陽太郎：クロモジ精油の生理作用に関する研究. 平成 23 年度日本農芸化学会大会, 2011. 3. 25-28 京都.
- d-05. 前多隼人, 阿部美菜子, 細川雅史¹, 宮下和夫¹, 片方陽太郎：脂肪細胞での脂質代謝に及ぼす小松菜色素成分の効果 (弘前大・農学生命科学, ¹北大院・水産科学院) 平成 23 年度日本農芸化学会大会, 2011. 3. 25-28 京都.
- d-06. Katagata Y, Yamazaki S, Uchiumi A.: Hsp40 regulates cell specific expression of keratin molecules at epidermal keratinization in cultured cells. 22nd World Congress of Dermatology, May 24-29, Seoul, Korea.

- d-07. 三好貞徳, 山崎祥他, 内海愛里, 片方陽太郎: ヒト閣下細胞の不死化細胞 (HaCaT) における HSP90 とケラチンの相互作用. 第83回日本生化学会, 2011. 9. 22. 京都.
- d-08. 後藤昌史, 山崎祥他, 加藤陽治, 山本和司, 片方陽太郎: 鮭鼻軟骨由来高分子プロテオグリカンのヘアレスマウスにおける皮膚アンチエイジング効果. 第83回日本生化学会, 2011. 9. 22. 京都.
- d-09. 山崎真央, 片方陽太郎, 前多隼人: クロモジ精油の生理作用に関する研究. 日本農芸化学会東北支部第146回大会, 2011. 10. 8. 鶴岡.
- d-10. 前多隼人, 阿部美菜子, 細川雅史, 宮下和夫, 片方陽太郎: 小松菜に含まれるネオキサンチンによる脂肪細胞での代謝調節作用. 日本農芸化学会東北支部第146回大会, 2011. 10. 8. 鶴岡.
- d-11. 片方陽太郎, 山崎祥他: 40 kDa heat shock protein (Hsp40) は keratin 14 を特異的に調節する. 第63回日本皮膚科学会西部支部学術大会, 2011. 10. 8. 沖縄.
- d-12. 三好貞徳, 山崎祥他, 片方陽太郎: HaCaT における Hsp90 の阻害がケラチン発現に与える影響. 第63回日本皮膚科学会西部支部学術大会, 2011. 10. 8. 沖縄.
- d-13. 三上真理, 伊藤美夏瀬, 鈴木民夫, 片方陽太郎: チロシナーゼの糖鎖修飾とメラニン生成との関連性. 第63回日本皮膚科学会西部支部学術大会, 2011. 10. 8. 沖縄.
- d-14. 内海愛里, 山下麻美子, 山崎祥他, 片方陽太郎: 腫瘍細胞におけるケラチン分子と細胞遊走能との関連性. 第63回日本皮膚科学会西部支部学術大会, 2011. 10. 8. 沖縄.
- e-01. 第3回食品生理機能研究会共催, (農芸化学会シンポジウム), 2011. 7. 9.
- f-01. 片方陽太郎: ドリーム講義「紫外線と化粧品と健康食品を切れば」青森北高校 (2010. 10. 26).
- f-02. 第2回食品生理機能研究会「イブニングフォーラム」, 弘大コラボにて開催 (2010. 10. 29).
- f-03. 片方陽太郎: 出前講義「誤った実験から小さな新事実への道のり～実験科学のおもしろさ～」札幌旭丘高校 (2010. 11. 9).
- f-04. 前多隼人, 片方陽太郎: 青森産ナマコの脂質成分の機能性, 平成21年度ナマコ食ブランド化推進事業報告書 (2011. 3. 31).
- f-05. 片方陽太郎: リンゴ鹿角霊芝, 食べて! 元気になれる いわて食材パンフレット, pp.11, 岩手大学地域連携推進センター出版 (2011. 5. 23).
- f-06. 片方陽太郎: 出前講義「誤った実験から小さな新事実への道のり～実験科学のおもしろさ～」盛岡北高校 (2011. 10. 15).
- f-07. 片方陽太郎: 捨てるリンゴ種子に何がある? “宝探しの実験から” 弘前大学公開講座 (2011. 10. 23)

宮入 一夫

- a-01. Shibata, T., M. Kudou, Y. Hoshi, A. Kudo, N. Nanashima, and K. Miyairi: Isolation and characterization of a novel two-component hemolysin, erylysin A and B, from an edible mushroom, *Pleurotus eryngii*. *Toxicon*, **56**: 1436-1442, 2010.
- d-01. Kazuo Miyairi, Shun Ogawa, Tetsuya Shimizu, Tsubasa Kimura, and Toshikatsu Okuno: Auto-inactivation of *Stereum purpureum* proendopolygalacturonase I by C-terminal 44 amino acid residues. the Pacificchem 2010 Congress December 17, 2010. (Hawaii, USA)
- d-02. 星 吉伸・山崎絵麻・宮入一夫: エリンギのヘモリシン, ErylysinA および B のクローニングと発現, 日本農芸化学会 (京都) 2011. 3月.
- d-03. 宮入一夫・大澤佑斗・白戸千裕・鈴木義孝: キノコ類の溶血タンパク質, ヘモリシンの分布と特徴. 日本菌学会第55回大会 (札幌) 2011. 9月.
- d-04. 木村 翼・小川 峻・清水哲哉・奥野智旦: プロ EndoPGI のプロ配列付加による EndoPGIV および他起源 EndoPG の不活性化. 日本応用糖質科学会第60回大会 (札幌) 2011. 9月.
- f-01. スカイラークフードサイエンス研究所助成報告会, 私学会館 (東京) (2010. 11. 29)
- f-02. 宮入一夫: 出前講義, 弘前大学農学生命科学部の学生生活と研究, 三沢高等学校, (2011. 6. 25)
- f-03. 宮入一夫: 出前講義, タンパク質こそが生命活動の主役, 青森戸山高校, (2011. 7. 19)

園木 和典

- a-01. Sonoki T, Kajita S, Uesugi M, Katayama Y, Iimura Y. Effective removal of bisphenol A from contaminated areas by recombinant plant producing lignin peroxidase. *Journal of Petroleum and Environmental Biotechnology*. 2 (1): 105-107, 2011.

- a-02. Sonoki T, Matsumoto K, Jindo K, Sudo H, Sasaki Y. Characterization of biochar-blended composting of regional waste biomass. *Transactions of the Materials Research Society of Japan*. 35 (4): 909-912, 2010.
- a-03. Matsumoto K, Jindo K, Suto K, Sudo H, Sasaki Y, Sonoki T. Effects of biochar- and pyrolytic acid-blended compost made by regional waste biomass of Aomori on the growth of radish (*Raphanus sativus* var. *sativus*). *Wood Carbonization Research* (in Japanese). 7 (2): 63-67, 2010.
- d-01. 佐藤夕貴, 佐々木伸介, 園木和典. 地域未利用バイオマスから分離した水素生成 *Clostridium* 属細菌の特性解析. 日本生物工学会2010年度大会(宮崎シーガイア), 2010.
- d-02. Koki Suto, Tomohiro Kougo, Akinori Kimura, J Fang, Kazuhiro Matsumoto, Yoshiyuki Sasaki, Keiji Jindo, Miguel Angel Sanchez-Monedero, Masakazu Aoyama, Tomonori Sonoki. Characterization of the effect of biochar blending in composting process. 20th MRS-J academic symposium, 2010.
- d-03. 濁川 陸, 渡辺藍子, 園木和典, 伊藤幸博. セルラーゼ過剰発現による稲わらの糖化性の向上. 第52回日本植物生理学会年会(東北大学), 2011.
- d-04. 佐藤夕貴, 林 成司, 佐藤 圭, 園木和典. 地域未利用バイオマスから分離した水素生成 *Clostridium* 属細菌の特性解析. 日本農芸化学会2011年度大会(京都女子大学), 2011.
- d-05. 園木和典, 水本英樹, 神藤恵史, Sanchez-Monedero MA. 地域未利用バイオマスの炭化による炭素隔離ポテンシャル評価. エコマテリアル・フォーラム2011年国内シンポジウム(東京工業大学), 2011.
- d-06. Keiji Jindo, Tomonori Sonoki, Kazuhiro Matsumoto, Masakazu Aoyama, Carlos Izquierdo Garcia, Miguel Angel Sanchez-Monedero. The study of chemical effect of biochar on the humification during composting process of manure composts. 2nd Asian Pacific Biochar Conference, 2011.
- d-07. Tomonori Sonoki, Toru Furukawa, Hideki Mizumoto, Keiji Jindo, Masakazu Aoyama, Miguel A Sanchez Monedero. Impacts of biochar addition on methane and carbon dioxide emissions during composting of cattle manure. 2nd Asian Pacific Biochar Conference, 2011.
- d-08. 濁川 陸, 渡辺藍子, 古川佳世子, 園木和典, 伊藤幸博. セルラーゼ過剰発現による稲わらの糖化性の向上. 第29回日本植物細胞分子生物学会大会(九州大学), 2011.
- d-09. 園木和典, 古川 徹, 水本英樹, 神藤恵史, Sanchez-Monedero MA. Biochar混合による堆肥製造過程の温室効果ガス排出削減効果. 日本生物工学会2011年大会(東京農工大学), 2011.
- d-10. 佐藤夕貴, 鈴木由麻, 佐藤 圭, 林 成司, 園木和典. *Clostridium beijerinckii* HU-2株の水素生産能力評価と関連遺伝子解析. 日本生物工学会2011年大会(東京農工大学), 2011.
- e-01. 園木和典:平成22年度弘前大学若手研究者支援事業実績報告書, 2011.
- f-01. 園木和典: Biochar(炭)の活用ー温室効果ガス排出削減と土壤環境再生ー: 日本生物工学会誌バイオメディア, 2011.
- f-02. 園木和典: 生物資源活用の現状と課題: 農村リーダー育成事業アグリカレッジ, 2011.

殿内 暁夫

- a-01. Kitamura, K., Fujita, T., Akada, S., Tonouchi, A.: *Methanobacterium kanagiense* sp. nov., a hydrogenotrophic methanogen, isolated from rice-field soil. *Int J Syst Evol Microbiol.*, 61: 1246-1252, 2011.
- d-01. 松山信彦・高谷織衣・藤澤春樹・殿内暁夫・佐々木長市: 施肥により強酸性化したアロフェン質黒ボク土における有効態窒素の変動. 日本土壤肥料学会2011年度つくば大会(つくば), 2011.
- f-01. 北村浩二・殿内暁夫: 書籍「感染症から知るウイルス・細菌1(学研教育出版), 2010」電子顕微鏡写真提供, 2010.
- f-02. 村中文人・齋藤知明・殿内暁夫: 糖化原料, その製造方法およびエタノール製造方法. 特願2010-197642, 2010.
- f-03. 殿内暁夫: 白神山地の有用微生物. 白神山地で活躍する人々ー産業編一. 3-6, 2011.
- f-04. 原田幸雄・殿内暁夫: 白神の菌類(キノコ・カビ)を学ぶ. 白神自然観察園観察会, 2011.

吉田 孝

- a-01. Tanaka T., Y. Shima, N. Ogawa, K. Nagayama, T. Yoshida, T. Ohmachi: Expression, identification and purification of *Dictyostelium* acetoacetyl-CoA thiolase expressed in *Escherichia coli*. *Int. J. Biol. Sci.*, 7, 9-17 (2011).
- b-01. 吉田 孝・多田羅洋太・Yuri D. Lobsanov・Lynne P. Howell: 「GH47 α -マンノシダーゼの触媒構造について」, 応用糖質科学, 1巻2号, 168-173頁, 2011.
- d-01. 佐藤将太・太田邦彦・児島 薫・田中和明・吉田 孝: 半身萎凋病菌 *Verticillium dahliae* が生産する2種類の

- キシログルカン分解酵素の活性と構造. 日本農芸化学会2011年度大会(京都), 2011.
- d-02. Shota Sato, Kunihiko Ota, Kaoru Kojima, Kazuaki Tanaka, Takashi Yoshida: Purification and characterization of two xyloglucanases from a plant pathogenic fungus, *Verticillium dahliae*. International Union of Microbiological Societies 2011 Congress (Sapporo), 2011.
- d-03. 佐藤将太・太田邦彦・児島 薫・田中和明・吉田 孝: 半身萎凋病菌 *Verticillium dahliae*由来の Glycoside Hydrolase Family 12に属する Xyloglucanaseの構造と活性. 日本応用糖質科学会平成23年度大会(札幌), 2011.
- d-04. 佐藤将太・太田邦彦・児島 薫・田中和明・吉田 孝: 質量分析計を用いたキシログルカン分解酵素の機能解析. 日本農芸化学会東北支部大会(鶴岡), 2011.
- f-01. 吉田 孝: イソマルターゼ(特許出願), 2011.

【生物資源学科】

【食料開発コース】

石川 隆二

- a-01. Ashikawa, I., J. Wu, T. Matsumoto, and R. Ishikawa: Haplotype diversity and molecular evolution at the rice *Pikm* locus for blast Resistance. *Journ. Gen. Plant Path.* 76: 137-42, 2010.
- a-02. Tanaka, K., R. Ishikawa: Rice archaeological remain and possibility of DNA archaeology. *Arch. Anth. Sci.* 2: 69-78, 2010.
- d-01. 小林 雄・田中克典・一谷勝之・中村郁郎・佐藤洋一郎・佐藤雅志・石川隆二：オーストラリアにおける多年生イネの集団構造 第119回日本育種学会(横浜市立大学), 2011.
- d-02. 齋藤 生・石川隆二：OsMADS6へのトランスポゾン挿入変異による新たなイネ穎花変異体. 第119回日本育種学会(横浜市立大学), 2011.
- d-03. 石川隆二・田中克典・一谷勝之・中村郁郎・佐藤洋一郎・佐藤雅志：オーストラリアにおけるイネ属種間雑種 日本遺伝学会第83回大会(京都), 2011.
- d-04. 大塚健太・猪谷富雄・石川隆二：日本在来香り米の系統解析に基づくBADH2遺伝子の遺伝的・形質的解析 第120回日本育種学会(福井県立大学), 2011.
- d-05. 齋藤 生・石川隆二 OsMADS6に挿入変異を生じた活性型トランスポゾンの挙動 第120回日本育種学会(福井県立大学), 2011.
- e-01. 石川隆二. イネの原産地と日本への伝播. *食品と容器*51: 470-477, 2010.

柏木 明子

- a-01. Kashiwagi, A. & Yomo, T.: Ongoing Phenotypic and Genomic Changes in Experimental Coevolution of RNA Bacteriophage Q β and *Escherichia coli*, *PLoS Genetics*, **7** (8), e1002188, 2011.
- a-02. Tsuru, S., Yasuda, N., Murakami, Y., Ushioda, J., Mori, K., Kashiwagi, A., Suzuki, S., Ying, B.W., & Yomo, T.: Adaptation by stochastic switching of a monostable genetic circuit in *Escherichia coli*, *Molecular Systems Biology*, **7**, Article number 493, 2011.
- a-03. Hosoda, K., Suzuki, S., Yamauchi, Y., Shiroguchi, Y., Kashiwagi, A., Ono, N., Mori, K., & Yomo, T.: Cooperative adaptation to establishment of a synthetic bacterial mutualism, *PLoS One*, **6** (2), e17105, 2011.
- a-04. Mori, K., Kashiwagi, A. & Yomo, T.: Single-cell Isolation and Cloning of *Tetrahymena thermophila* Cells with a Fluorescence-activated Cell Sorter, *The Journal of Eukaryotic Microbiology*, **58** (1), pp.37-42, 2011.
- a-05. Kihara, K., Mori, K., Suzuki, S., Hosoda, K., Yamada, A., Matsuyama, S., Kashiwagi, A., & Yomo, T.: Probabilistic transition from unstable predator-prey interaction to stable coexistence of *Dictyostelium discoideum* and *Escherichia coli*, *BioSystems*, **13**, 342-347, 2011.
- d-01. 柏木明子, 四方哲也：実験室内進化系を用いたRNAウイルスの共進化過程解析系の構築と解析, 第62回日本生物工学会大会, ワールドコンベンションセンターサミット フェニックス・シーガイア・リゾート(宮崎県山崎町浜山), 2010.
- d-02. Kashiwagi, A.: On-going analysis of experimental coevolution system with *E. coli* and RNA bacteriophage Q β , RCCSB (Research Center for Complex Systems Biology) Symposium on cellular biophysics, The University of Tokyo, Komaba Campus, 2010. (招待講演)
- d-03. Kashiwagi, A. & Yomo, T.: Ongoing Phenotypic and Genomic Changes in Experimental Coevolution of RNA Bacteriophage Q β and *Escherichia coli*, Annual conference of society for molecular biology and evolution (SMBE), Kyoto University (Kyoto), 2011.
- d-04. 柏木明子, 四方哲也：大腸菌とRNAウイルスのモデル共進化系における宿主と寄生者の全ゲノム変化解析日本遺伝学会, 日本進化学会第13回大会, 京都大学(京都市), 2011.
- d-05. Kashiwagi, A. & Yomo, T.: Ongoing analysis of phenotypic and genomic changes in model coevolution system with *Escherichia coli* and bacteriophage Q β , International Union of Microbiological Societies 2011 Congress, Sapporo, Japan, 2011.
- d-06. 柏木明子, 四方哲也：大腸菌とQ β ファージのモデル共進化系におけるゲノム変化, 日本遺伝学会第83回大会, 京都大学(京都市), 2011.

- d-07. 柏木明子, 四方哲也: 大腸菌と Q β RNA フェージとのモデル共進化系における宿主と寄生者の全ゲノム変化解析, 第63回日本生物工学会大会, 東京農工大学小金井キャンパス, 2011.
- e-01. 柏木明子: 科学研究費補助金(若手研究 B) 報告書, 2011.
- e-02. 柏木明子: 加藤記念バイオサイエンス研究振興財団 第20回助成報告書, 「実験室内進化系を用いた RNA ウイルスの進化に関する研究」, 2011.
- e-03. 柏木明子: 戦略的創造研究推進事業四方動的微小反応場プロジェクト(科学技術振興機構), 平成22年度 研究成果報告書, 2011.
- e-04. 柏木明子: 平成22度弘前大学若手研究者支援事業実績報告書, 2011.
- f-01. 柏木明子: 悪環境で突然変異多発, 弘大など大腸菌培養実験, 生物多様性保つ仕組みか, 東奥日報, 2010. 12. 24 朝刊.
- f-02. 柏木明子: 曖昧さ利用し生き残る 遺伝子の働きに個体差 弘大など 環境適応の仕組み解明, 東奥日報, 2011. 6. 19 朝刊.
- f-03. 柏木明子: フラスコの中の微生物生態系, 日本生物工学会誌, 89(7), p.411, 2011.

千田 峰生

- a-01. 乗田理恵・西村さつき・千田峰生・川崎通夫: ダイズ種皮における色素蓄積様式に関する組織・細胞学的検討. 日本作物学会東北支部会報 **53**: 41-43, 2010.
- a-02. Ohnishi, S., H. Funatsuki, A. Kasai, T. Kurauchi, N. Yamaguchi, T. Takeuchi, H. Yamazaki, H. Kurosaki, S. Shirai, T. Miyoshi, H. Horita and M. Senda: Variation of *GmIRCHS* (*Glycine max* inverted-repeat *CHS* pseudogene) is related to tolerance of low temperature-induced seed coat discoloration in yellow soybean. *Theoretical and Applied Genetics* **122**: 633-642, 2011.
- a-03. Kurauchi, T., A. Kasai, M. Tougou and M. Senda: Endogenous RNA interference of chalcone synthase genes in soybean: Formation of double-stranded RNA of *GmIRCHS* transcripts and structure of the 5' and 3' ends of short interfering RNAs. *Journal of Plant Physiology* **168**: 1264-1270, 2011.
- a-04. Wang, Y., M. Shibuya, A. Taneda, T. Kurauchi, M. Senda, R. A. Owens and T. Sano: Accumulation of Potato spindle tuber viroid-specific small RNAs is accompanied by specific changes in gene expression in two tomato cultivars. *Virology* **413**: 72-83, 2011.
- d-01. 千田峰生: 黄ダイズの種皮着色抑制と種皮着色現象 第5回ダイズ研究会(北海道大学), 2011.
- d-02. 千田峰生・種田晃人: 黄ダイズの種皮着色抑制に関与する内在性 siRNA の解析 第6回ミヤコグサ・ダイズシンポジウム(かずさアカデミアホール), 2011.
- d-03. 高木恭子・西澤けいと・廣瀬亜矢・倉内佑・千田峰生・増田税・石本政男(2011) キュウリモザイクウイルス(CMV)のサイレンシング抑制遺伝子の導入によるダイズ種皮色の変化 日本育種学会第119回講演会(横浜市立大学), 2011.
- d-04. Owens, R. A., A. Taneda, M. Senda, K. Tech, J. C. Baker and T. Sano: Accumulation of potato spindle tuber viroid-specific small RNAs is accompanied by specific changes in gene expression in two tomato cultivars. XV International Congress of Virology, Sapporo, Japan, 2011.
- f-01. 千田峰生: 理系図書で紹介「遺伝子組換え食品って何?」弘前大学附属図書館報「豊泉」第33号, p.8, 2011.

戸羽 隆宏

- b-01. 戸羽隆宏, 山本裕司, 向井孝夫, 遠野雅徳: 乳酸菌・ピフィズス菌の構造と菌体成分, 日本乳酸菌学会編「乳酸菌とピフィズス菌のサイエンス」, 京都大学学術出版会, pp.95-129 (2010).
- b-02. 戸羽隆宏: 抗菌性物質の産生, 上野川修一・山本憲二監修「世紀を超えるピフィズス菌の研究—その基礎と臨床応用から製品開発へ—」, 日本ピフィズス菌センター, pp.20-24 (2011).
- d-01. 戸羽隆宏, 澤藤美歩, 前田瑛真, 野澤啓輔: 市販牛乳からの原料乳の微生物学的品質の推定は可能か. 日本畜産学会第114回大会(十和田市, 北里大学獣医学部), 2011.
- d-02. 戸羽隆宏, 澤藤美歩, 前田瑛真, 野澤啓輔: 市販牛乳からの細菌 DNA の回収法の比較. 平成23年度日本酪農科学シンポジウム(仙台市, フォレスト仙台), 2011.

原田 竹雄

- a-01. Wang A., Li T., Harada T. The regulatory role of 1-aminocyclopropan-1-carboxylate synthase genes in apple

- fruit shelf life. *Europ. J. Horticult. Sci.* **76**; S.77-83, ISSN 1611-4426. 2011.
- a-02. Bai S., Kasai A., Yamada K., Li T., Harada T. Mobile signal transported over a long distance induces systemic transcriptional gene silencing in a grafted partner. *J. Exp. Bot.*; doi: **10.1093/jxb/err163**. 2011.
- a-03. Tsuwamoto R. and Harada T. The *Arabidopsis* COR13 promoter contains two cis-acting regulatory regions required for transcriptional activity in companion cells. *Plant Cell Reports* **30**: 1723-1733. 2011.
- a-04. Kasai A., Bai S., Li T., Harada T. Graft-transmitted siRNA signal from root induces visual manifestation of endogenous post transcriptional gene silencing in the scion. *PLoS ONE* **6**: e16895. 2011.
- d-01. Xu H., Iwashiro R., Li T., Harada T. Characterization of the transport of GIBBERELLIC ACID INSENSITIVE transcripts in phloem through graft junction. *Plant Biology 2011 (Minneapolis USA)*, 2011.
- d-02. 白松齡・王愛徳・今智之・深澤(赤田)朝子・初山慶道・五十嵐恵・原田竹雄. リンゴ栽培品種における MdACS3aの対立遺伝子の解析. 平成23年度果樹バイテク研究会(名護市), 2011.
- d-03. 白松齡・王愛徳・今智之・初山慶道・五十嵐恵・原田竹雄. リンゴ栽培品種における MdACS3aの対立遺伝子の解析. 日本育種学会(横浜市立大学), 2011.
- d-04. 徐海燕・原田竹雄. リンゴ台木マルバカイドウへの Atgai導入とその個体解析 日本園芸学会(宇都宮大), 2011.
- d-05. 白松齡・葛西厚史・山田かおり・原田竹雄. siRNA産生個体の接ぎ木パートナーにおける TGS発動. 日本園芸学会(宇都宮大), 2011.
- d-06. 原田竹雄. 接ぎ木によるジーンサイレンシング発動システム. RNA研究センター2010年度成果報告会, 2011.
- d-07. 原田竹雄. 植物遺伝子にサイレンシング変異を発動させる簡便システム 平成23年度帯広畜産大学, 北東・地域大学コンソーシアム新技術説明会 科学技術振興機構 JSTホール(東京・市ヶ谷), 2011.
- d-08. Bai S., Kasai K., Harada T.: Transcriptional gene silencing induced by phloem-transport siRNA. 分子生物学会(神戸), 2010.
- d-09. Xu H., Harada T., Li T. GAI mRNA transport in two directions between stock and scion in *Malus*. 分子生物学会(神戸), 2010.
- f-01. 原田竹雄. 名古屋大学大学院生命農学研究科 生物機構・機能科学専攻 特別講義 2011. 9月15日, 16日

前多 隼人

- a-01. Miyashita K., Maeda H., Okada T., Abe M., Hosokawa M: Anti-obesity and anti-diabetic effects of allenic carotenoid, fucoxanthin. *agro Food industry hi-tech*, 21 (6) 2010.
- b-01. 前多隼人・片方陽太郎: クロモジ精油の生理機能. *Aroma Research*, 47 (12): 244-245, 2011.
- d-01. 前多隼人・阿部美菜子・斎藤修一・片方陽太郎・細川雅史・宮下和夫, パプリカカロテノイドによる脂肪細胞でのアディポサイトカイン分泌調節作用. 第15回日本フードファクター学会学術集会(仙台市民会館), 2010.
- d-02. 前多隼人・阿部美菜子・細川雅史・宮下和夫・片方陽太郎, 脂肪細胞での脂質代謝に及ぼす小松菜色素成分の効果. 日本農芸化学会2011年度大会(京都女子大), 2011.
- d-03. 山崎真央・前多隼人・中田辰男・内沢秀光・片方陽太郎, クロモジ精油の生理機能に関する研究. 日本農芸化学会2011年度大会(京都女子大), 2011.
- d-04. 寺崎 将・工藤裕香・酒井良隆・前多隼人・宮下和夫・増田園子, ビタミンDおよびカロテノイドによる大腸がん細胞増殖抑制作用. 日本薬学会北海道支部第136回例会(札幌コンベンションセンター), 2011.
- d-05. 寺崎 将・長尾昭彦・前多隼人・宮下和夫・増田園子, フコキサンチンと活性型ビタミンD3の複合効果による大腸がん化学予防法の開発. 第25回カロテノイド研究談話会(つくば国際会議場), 2011.
- d-06. 前多隼人・阿部美菜子・細川雅史・宮下和夫・片方陽太郎, 小松菜に含まれるネオキサンチンによる脂肪細胞での代謝調節作用. 第25回カロテノイド研究談話会(つくば国際会議場), 2011.
- f-01. 前多隼人, 文部科学省大学等産学官連携自立促進プログラム 研究成果技術移転セミナー 講演(帯広市), 2010.
- f-02. 前多隼人, 八戸高専と弘前大学とのシーズ提案会 発表(八戸市), 2011.
- f-03. 前多隼人, 東北地区アグリビジネス創出フェア2011~新たなアグリビジネスの創出に向けて~ 展示(仙台市), 2011.
- f-04. 前多隼人: 食べて!元気になる いわて食材パンフレット 食べて!元気になる いわて食材パンフレット執筆. 岩手県 政策地域部地域振興室 岩手大学地域連携推進センター編集, 2011.
- f-05. 前多隼人, 平成23年度あおもりナマコブランド化協議会 講演(青森市), 2011.

【生産環境コース】

青山 正和

- a-01. 青山正和：一体型 ATP測定試薬キットと小型ルミノメーターを用いた農耕地土壌の微生物バイオマスの推定。日本土壌肥科学雑誌, 82: 305-308, 2011.
- b-01. 青山正和・坂本 清：りんご剪定枝の堆肥利用, 泉谷眞実編著, 未利用バイオマスとしてのりんご剪定枝の活用戦略 [増補改訂版], p.67-77, 弘前大学出版会, 2011.
- d-01. Suto, K., T. Kougo, A. Kimura, J. Fang, K. Matsumoto, Y. Sasaki, K. Jindo, M. A. Sanchez-Monedero, M. Aoyama, T. Sonoki: Characterization of the effect of biochar blending in composting process. 20th MRS-J Academic Symposium (Yokohama Media & Communications Center), 2010.
- f-01. 青山正和：書評「溶存有機物の動態と機能 —土壌－河川－海を結んで—」, ペドロジスト (日本ペドロロジー学会誌), 55: 59, 2011.

赤田 辰治

- a-01. Matsuda, S., N. Wakamatsu, H. Jouyu, H. Makita, S. Akada: An extensive analysis of *R2R3-MYB* regulatory genes from *Fagus crenata*. Tree Genetics & Genomes, 7: 307-321, 2011.
- a-02. Kitamura, K., T. Fujita, S. Akada and A. Tonouchi: Methanobacterium kanagiense sp. nov., a hydrogenotrophic methanogen, isolated from rice-field soil. International Journal of Systematic and Evolutionary Microbiology, 61: 1246-1252, 2011.

佐野 輝男

- a-01. He, Y-H., Isono, S., Kawaguchi-Ito, Y., Taneda, A., Kondo, K., Iijima, A., Tanaka, K. and Sano, T.: Characterization of a new Apple dimple fruit viroid variant that causes yellow dimple fruit formation in 'Fuji' apple trees. J. Gen. Pl. Pathol. 76; 324-330. 2010.
- a-02. Nekoduka, K., Tanaka, K., Sano, T.: Pathogenicity of Mycochaetophora gentianae, causal fungus of gentian brown leaf spot, as affected by host species, and leaf position. J. Gen. Pl. Pathol. 76; 370-376. 2010.
- a-03. Wang, Y., Shibuya, M., Taneda, A., Kurauchi, T., Senda, M., Owens, RA., Sano, T.: Accumulation of Potato spindle tuber viroid-specific small RNAs is accompanied by specific changes in gene expression in two tomato cultivars. Virology 413; 72-83. 2011.
- a-04. Ramachandral, S., C.R. Adkar-Purushothama, CR., Maheshwara, PK., Sano, T., Janardhana, GR. A sensitive and reliable RT-nested PCR for the detection of Citrus tristeza virus from naturally infected Citrus plants. Current Microbiology (in Press)
- a-05. Jiang, D., Wu, Z., Xie, L., Sano, T., Li, S-F.: Sap-direct RT-PCR for the rapid detection of coleus blumei viroids of the genus Coleviroid from natural host plants. J. Virol. Method. In Press, Corrected Proof, Available online 25 March, 2011
- a-06. Tsushima, T., Murakami, S., Ito, H., He, Y-H., Adkar-Purushothama CR., Sano, T.: Molecular characterization of Potato spindle tuber viroid in Dahlia. J. Gen. Pl. Pathol. 77; 253-256, 2011.
- d-01. Owens, RA, Taneda A., Senda, M., Tech, K., Baker, Teruo Sano, T.: Accumulation of Potato spindle tuber viroid-specific small RNAs is accompanied by specific changes in gene expression in two tomato cultivars, IUMUS 2011 Sapporo, XVth International Congress of Virology, September 15, Sapporo Convention Center (Oral). 2011.
- d-02. Sano, T., Matsuda, T., Charith Raj, AP., Zhang, Z., Li, S.: Pathogenicity of Hop stunt viroid-grapevine and its mutant adapted to hops. IUMUS 2011 Sapporo, XVth International Congress of Virology, September 15, Sapporo Convention Center (Oral). 2011.
- d-03. Tsushima, T., Sano, T.: Detection of Coleus blumei Viroid 6 (CbVd-6) from Coleus in Japan and seed transmission of CbVd-1 and -6, IUMUS 2011 Sapporo, XVth International Congress of Virology, September 15, Sapporo Convention Center (Poster). 2011.
- d-04. 赫 英紅・伊藤大雄・田中和明・佐野輝男：オリゴ-DNAマクロアレイ法によるリンゴ葉圏に生息する病原性及び非病原性真菌・細菌のモニタリング。平成23年度北日本病害虫研究会(青森市・青森市民ホール)。2011年2月9日。

- d-05. 佐野輝男・村上咲子・伊藤寛次・対馬太郎：ダリアから分離された Potato spindle tuber viroid について。平成23年度日本植物病理学会(府中市・東京農工大学), 2011年3月27日。
- d-06. 松田考広・Adkar-Purushothama Charith Raj・佐野輝男：ホップ矮化ウイルス-ブドウ分離株とそのホップ適応変異体の病原性の比較。平成23年度日本植物病理学会(府中市・東京農工大学), 2011年3月27日。
- d-07. 対馬太郎・佐野輝男：コリウスブルメイウイルス1及び6の種子伝染性について。平成23年度日本植物病理学会(府中市・東京農工大学), 2011年3月27日。
- d-08. 赫 英紅・田中和明・伊藤大雄・佐野輝男：リンゴ樹葉圏に生息する病原性および非病原性真菌・細菌類の季節変動のオリゴDNAマクロアレイ解析。平成23年度日本植物病理学会(東京・東京農工大学), 2011年3月27日。
- e-01. Sano, T.: Chapter 42, Hop stunt viroid, In Virus and Virus-like Diseases of Pome and Stone Fruits, Edited by Hadidi A et al., APS Press, pp229-232, ISBN 978-0-89054-396-2. 2011.
- f-01. 佐野輝男：ウイルス研究の新展開 ウイルス 60巻: 177-186, 2010.
- f-02. 藤田有紀・犇田美穂・三浦佑水・清野佳子・田中和明・佐野輝男・岡部敏弘：未利用資源の活用例：バイオ抗菌剤—微粒子化した水溶性青森ヒバ油—を用いたリンゴ腐らん病治療への応用。コンバーテック455: 101-105, 2011.
- f-03. 佐野輝男：ウイルス性病害の検出と診断, 病害虫情報, 第93号, 植物防疫所2011年

田中 和明

- a-01. He, Y.H., S. Isono, Y. Kawaguchi-Ito, A. Taneda, K. Kondo, A. Iijima, K. Tanaka, T. Sano: Characterization of a new Apple dimple fruit viroid variant that causes yellow dimple fruit formation in 'Fuji' apple trees. Journal of General Plant Pathology **76**: 324-330, 2010.
- a-02. Nekoduka, S., K. Tanaka K, T. Sano: Pathogenicity of *Mycochaetophora gentianae*, causal fungus of gentian brown leaf spot, as affected by host species, inoculum density, temperature, leaf wetness duration, and leaf position. Journal of General Plant Pathology **76**: 370-376, 2010.
- a-03. Tanaka, K., V.A. Mel'nik, M. Kamiyama, K. Hirayama, T. Shirouzu: Molecular phylogeny of two coelomycetous fungal genera with stellate conidia, *Prosthemium* and *Asterosporium*, on Fagales trees. Botany **88**: 1057-1071, 2010.
- a-04. Tanaka, K., K. Hirayama, S.H. Iqbal: *Massariosphaeria websteri* sp. nov. and several members of the Pleosporales noteworthy to Pakistan. Mycologia Balcanica **7**: 77-85, 2010.
- a-05. Tayone, W.C., M. Honma, S. Kanamaru, S. Noguchi, K. Tanaka, T. Nehira, M. Hashimoto: Stereochemical Investigations of Isochromenones and Isobenzofuranones Isolated from *Leptosphaeria* sp. KTC 727. Journal of Natural Products **74**: 425-429, 2011.
- a-06. Hosoya, T., J.G. Han, G.H. Sung, Y. Hirayama, K. Tanaka, K. Hosaka, I. Tanaka, H.D. Shin: Molecular phylogenetic assessment of the genus *Hyphodiscus* with description of *Hyphodiscus hyaloscyphoides* sp. nov. Mycological Progress **10**: 239-248, 2011.
- a-07. Tanaka, K., M. Endo, K. Hirayama, I. Okane, T. Hosoya, T. Sato: Phylogeny of *Discosia* and *Seimatosporium*, and introduction of *Adisciso* and *Immersidiscosia* genera nova. Persoonia **26**: 85-98, 2011.
- a-08. Crous, P.W., K. Tanaka, B.A. Summerell, J.Z. Groenewald: Additions to the *Mycosphaerella* complex. IMA Fungus **2**: 49-64, 2011.
- d-01. 原田幸雄・田中和明・佐野輝男：ヨシの麦角に寄生するヒメバツカクヤドリタケ：分生子の形成とその伝染環における役割。平成22年度日本植物病理学会東北部会(福島・コラッセ福島), 2010年10月4～5日。
- d-02. 田中和明・佐野沙織・川端嶺奈：カシワ黒星病(新称)を引き起こす *Protoventuria quercina* (日本新産種) について。平成23年度日本植物病理学会(東京・東京農工大学), 2011年3月27～29日。
- d-03. 赫 英紅・田中和明・伊藤大雄・佐野輝男：リンゴ樹葉圏に生息する病原性および非病原性真菌・細菌類の季節変動のオリゴDNAマクロアレイ解析。平成23年度日本植物病理学会(東京・東京農工大学), 2011年3月27～29日。
- d-04. 橋本 陽・佐藤玄樹・松田考広・平山和幸・田中和明： *Dinemasporium* 属およびその関連属の分類学的再検討。日本菌学会第55回大会(札幌・北海道大学/北海道立道民生活センターかでの2.7), 2011年9月10～11日。
- d-05. 本田和幸・上山茉亜紗・平山和幸・Mel'nik VA・田中和明：分子系統解析に基づくプレオマツサリア科菌類の分類学的再検討。日本菌学会第55回大会(札幌・北海道大学/北海道立道民生活センターかでの2.7), 2011年9月10～11日。

- d-06. 田中和明・平山和幸：広義 *Massarina eburnea* の分類学的再検討. 日本菌学会第55回大会(札幌・北海道大学/北海道立道民生活センターかでの2.7), 2011年9月10～11日.
- d-07. 平山和幸・田中和明：分子系統解析と形態比較に基づく *Lentithecium* 属およびその関連属の分類学的検討. 日本菌学会第55回大会(札幌・北海道大学/北海道立道民生活センターかでの2.7), 2011年9月10～11日.
- f-01. 田中和明：植物病原菌類の生物学(うどんこ病菌の同定). サイエンス・パートナーシップ・プロジェクト(SPP). 青森県弘前市裾野中学校. 2010年12月8日.
- f-02. 田中和明：日本新産種 *Rebentischia massalongoi* および *R. abietis* (子のう菌門, クロイボタケ綱) の記載. 青森自然史誌研究 **16**: 39-42, 2011.
- f-03. 平山和幸・田中和明：西表島で発見された広義 *Massarina* 属菌の日本新産種について. 青森自然史誌研究 **16**: 43-47, 2011.
- f-04. 藤田有紀・鶴田美穂・三浦佑水・清野佳子・田中和明・佐野輝男・岡部敏弘：未利用資源の活用例：バイオ抗菌剤—微粒化した水溶性青森ヒバ油—を用いたリンゴ腐らん病治療への応用. コンバーテック **455**: 101-105, 2011.
- f-05. 原田幸雄・田中和明・佐野輝男：ヨシの麦角に寄生するヒメバツカクヤドリタケ：分生子の形成と麦角への寄生性. 冬虫夏草 **31**: 9-15, 2011.

比留間 潔

- a-01. Kaneko, Y., Shinoda, T., and Hiruma, K. (2011). Remodeling of the corpora cardiaca and the corpora allata during adult metamorphosis in *Bombyx mori*: identification of invisible corpora cardiaca by the expression of adipokinetic hormone. *Appl. Entomol. Zool.*, 46, 87-93.
- a-02. Kaneko, Y., Kinjoh, T., Kiuchi, M., and Hiruma, K. (2011). Stage-specific regulation of juvenile hormone biosynthesis by ecdysteroid in *Bombyx mori*. *Mol. Cell. Endocrinol.* **335**, 204-210.
- a-03. Kaneko, Y., Furuta, K., Kuwano, E., and Hiruma, K. (2011). An anti-juvenile hormone agent, ethyl 4-(2-benzylhexyloxy)benzoate, inhibits juvenile hormone synthesis through the suppression of the transcription of juvenile hormone biosynthetic enzymes in the corpora allata in *Bombyx mori*. *Insect Biochem. Mol. Biol.* **41**, 788-794.
- b-01. 金 児雄・比留間潔(2011) 発育時期特異的な昆虫幼若ホルモン生合成の制御機構. 比較内分泌学, 印刷中. (招待論文)
- b-02. 比留間潔(2011) 新刊紹介: 脱皮と変態の生物学—昆虫と甲殻類のホルモン作用の謎を追う. 園部治之・長澤寛通 編著. 東海大学出版. 日本応用動物昆虫学会誌, 印刷中. (招待)
- d-01. Hiruma, K. (2011). Regulation of insect juvenile hormone biosynthesis. Institute of Zoology, Slovak Academy of Sciences. July 21, 2011. Bratislava, Slovakia. (招待講演)
- d-02. Kinjoh, T. and Hiruma, K. (2010). 20-Hydroxyecdysone as a regulator for the expression of insect juvenile hormone biosynthesis. 第22回日本分子生物学会. 2010年12月7-10日. 神戸ポートアイランド.
- d-03. 金 児雄・石原和成・盛 雄治・比留間潔(2011) 単一細胞の蛹コミットメント; Verson's glandを用いた細胞レベルでの解析. 第55回日本応用動物昆虫学会. 2011年3月27-29日. 九州大学.
- d-04. 金城輝則・比留間潔(2011) エクダイソン誘導性転写因子を介したJH合成酵素遺伝子の制御. 第55回日本応用動物昆虫学会. 2011年3月27-29日. 九州大学.
- d-05. 杉目康広・秋元真理・金 児雄・比留間潔(2011) インスリン依存的なcrochet形成能力の制御機構. 第55回日本応用動物昆虫学会. 2011年3月27-29日. 九州大学.
- d-06. 横山拓彦・比留間潔・富田秀一郎(2011) カイコの転写因子BHR4強制発現によるエクダイソン濃度低下の阻害. 第55回日本応用動物昆虫学会. 2011年3月27-29日. 九州大学.

藤田 隆

- a-01. Kitamura, k., T. Fujita, S. Akada and A. Tonouchi: *Methanobacterium kanagiense* sp. nov., a hydrogenotrophic methanogen, isolated from Japanese rice-field soil. *Int. J. Syst. Evol. Microbiol.* **61**: 1246-1252, 2011.
- d-01. Kondo, T. and T. Fujita: Nucleotide sequence and infectious cDNA clone of Chinese yom necrotic mosaic virus. 15th International Congress of Virology (Sapporo, Japan), September 11-16, 2011.
- f-01. 藤田 隆：リンゴの主要病害—星影のもたらした悪二つ, 黒星病と赤星病, 公開講座「リンゴを科学する」(生物共生教育研究センター主催) 講演要旨, 13-20, 2010.

松山 信彦

- a-01. Shyamal Kumar Paul, C. Sasaki, N. Matsuyama, K. Noda and B. K. Mitra.: Influence of percolation patterns on growth and yield of rice plants and uptake of cadmium from polluted paddy fields using soil dressing models. *Pedologist*, 54: 222-229, 2011.
- a-02. 佐々木長市・松山信彦・佐瀬 隆・殿内暁夫・Shyamal Kumar Paul・野田香織・山岸洋貴：白神山地の土壤に関する研究(8), *白神研究*, 8: 50-61, 2011.
- b-01. 佐々木長市・松山信彦：白神山地の土壤, *白神学入門<改訂版>*, 41-45, 白神自然環境研究所編, 2011.
- d-01. 松山信彦・高谷織衣・藤澤春樹・殿内暁夫・佐々木長市：施肥により強酸性化したアロフェン質黒ボク土における有効態窒素の動態, 2011年日本土壤肥料学会講演会.
- e-01. 有野祐樹・松山信彦：マグネシウム施与が水稻生理及び生育・収量に与える影響, *日本作物学会東北支部会報*, 53: 17-18, 2010.
- e-02. 佐藤 佑・松山信彦・舘岡和寛：ケイ酸の施与がマコモ (*Zizania latifolia* Turcz.) のデンプン含量に与える影響, *日本作物学会東北支部会報*, 53: 39-40, 2010.

【園芸農学科】

【園芸農学コース】

荒川 修

- a-01. 葛西 智*・工藤 智*・荒川 修：NAA処理によるリンゴ‘ふじ’の裂果抑制. 園学研, 10(1)：69-74, 2011.
(*地方独立行政法人青森県産業技術センター りんご研究所)
- a-02. 渡邊 学*・小山田知広*・壽松木章*・村上政伸*・佐川 了*・小森貞男*・荒川 修：リンゴ‘はるか’および‘ふじ’果実における糖蓄積特性の比較. 園芸学研究, 10(4)：565-571, 2011. (*岩手大学農学部)
- b-01. 荒川 修：太陽紫外線とリンゴの着色, からだと光の事典, 太陽紫外線防御研究委員会(編), 朝倉書店：26-29, 2010.
- d-01. 荒川 修・辻 健太・田中紀充：リンゴ果実の成熟開始と進行に及ぼすエチレンの影響. 園学要旨, 平23東北支部：23-24, 2011.
- d-02. 葛西 智*・荒川 修：反射マルチがリンゴ‘ふじ’のアスコルビン酸含量におよぼす影響. 園学要旨, 平23東北支部：19-20, 2011. (*地方独立行政法人青森県産業技術センター りんご研究所)
- d-03. 工藤秀平・田中紀充・*1和田雅人・*1守谷(田中)友紀・*1阿部和幸・*2小森貞男・荒川 修：リンゴの交配処理における受精が果実肥大と果実品質に及ぼす影響. 園学研. 10別1：280. 平成23年度園芸学会春季大会(宇都宮大学), 2011. (*1独立行政法人 農業・食品産業技術総合研究機構 果樹研究所. リンゴ研究拠点, *2岩手大学農学部)
- d-04. 工藤秀平・田中紀充・*1和田雅人・*1守谷(田中)友紀・*1阿部和幸・*2小森貞男・荒川 修：リンゴの品種間における種子形成が果実品質に及ぼす影響. 園学研. 10別1：281. 平成23年度園芸学会春季大会(宇都宮大学), 2011. (*1独立行政法人 農業・食品産業技術総合研究機構 果樹研究所. リンゴ研究拠点, *2岩手大学農学部)
- d-05. 田中紀充・工藤秀平・松本省吾*・守谷(田中)友紀*・荒川修：受粉がリンゴの果実肥大に及ぼす影響. 園学研. 10別2：376. 平成23年度園芸学会秋季大会(岡山大学), 2011. (*独立行政法人 農業・食品産業技術総合研究機構 果樹研究所. リンゴ研究拠点)
- d-06. 佐々木裕生・荒川 修・張 樹槐：リンゴ果実のポリフェノール含有量予測への分光計測技術の応用, 平成23年度農業機械学会東北支部大会研究発表会要旨集, 25～26, 2011.

鈴木 裕之

- a-01. 近藤真大・王 鳳鵬・木村 中・小笠原陵・房 家琛・鈴木裕之・松崎正敏：アルコール発酵型リンゴ粕サイレージ採食後のサフォーク種めん羊の血糖値低下について. 日本綿羊研究会誌, 47: 13-19, 2010.
- a-02. Fang, J., Matsuzaki, M., Suzuki, H., Xu, C., Cai, Y., Horiguchi, K., Takahashi, T.: Fermentation quality, digestibility and unhulled rice excretion of forage paddy rice silage prepared by different harvester types. Grassland Science, 57: 23-27, 2011.
- a-03. Fang, J., Matsuzaki, M., Suzuki, H., Wusiman, Y., Goto, M., Horiguchi, K., Takahashi, T.: Effects of adding a monosodium glutamate fermented by-product on the fermentation quality of whole crop rice (*Oryza sativa* L.) silage, digestibility and ruminal fermentation in beef cattle. Grassland Science, 57: 107-112, 2011.
- d-01. Kondo, M., Moriuchi, H., Fang, J., Suzuki, H., Matsuzaki, M.: Postprandial hypoglycemia after feeding of alcohol-fermented apple pomace silage. The 2011 American Dairy Science Association-American Society of Animal Science Joint Annual Meeting (New Orleans, LO, USA), 7, 10-14, 2011.
- d-02. 房 家琛・佐藤奈々恵・近藤真大・森内晴也・木村 中・鈴木裕之・松崎正敏：産出後の貯蔵日数の異なるリンゴ粕を用いて調製したリンゴ粕混合サイレージの発酵品質. 日本畜産学会114回大会(北里大学), 8：26-27, 2011.
- d-03. 木村 中・近藤真大・森内晴也・房 家琛・鈴木裕之・松崎正敏：リンゴ粕混合サイレージ中のエタノールと血糖値低下との関連. 日本畜産学会114回大会(北里大学) 2011. 8. 26-27.
- d-04. 森内晴也・房 家琛・近藤真大・鈴木裕之・松崎正敏：エタノール含量が異なるリンゴ粕混合サイレージの嗜好性. 日本畜産学会114回大会(北里大学) 2011. 8. 26-27.
- d-05. 柴 伸弥・松崎正敏・房家シン・白戸 賢・高橋信二・小笠原陵・鈴木裕之・今成麻衣・米内美晴・樋口幹人・渡辺 彰：リンゴ粕アルコール発酵飼料の給与が羊肉の理化学的特性および官能評価に及ぼす影響. 日本畜産学会114回大会(北里大学) 2011. 8. 26-27.

- d-06. 柁嶋克哉・吉永大輔・房 家琛・松崎正敏・鈴木裕之：ハムスター初期胚における細胞周期依存的なミトコンドリア分布の制御機構. 日本畜産学会114回大会(北里大学) 2011. 8. 26-27.
- d-07. 小田純平・柁嶋克哉・加藤愛子・房 家琛・松崎正敏・鈴木裕之：ブタ卵母細胞の成熟に伴う中間径繊維, ケラチンとビメンチンの分布変化. 第61回東北畜産学会大会(青森市) 2011. 9. 8-9.
- d-08. 高橋信二・小笠原陵・房 家琛・木村 中・森内晴也・近藤真大・鈴木裕之・松崎正敏：サフォーク種めん羊のリング粕混合サイレージ給与肥育が肉質および屠体成績に及ぼす影響. 第61回東北畜産学会大会(青森市) 2011. 9. 8-9.
- d-09. 柴 伸弥・松崎正敏・房 家琛・木村 中・近藤真大・鈴木裕之・今成麻衣・米内美晴・樋口幹人・渡辺彰：りんごジュース粕アルコール発酵飼料の給与が黒毛和種肥育牛の腰最長筋の肉質および官能評価に及ぼす影響. 第61回東北畜産学会大会(青森市) 2011. 9. 8-9.

張 樹槐

- a-01. 片平光彦^{*1}・張 樹槐・大泉隆弘^{*2}・後藤恒義^{*2}・鵜沼秀樹^{*3}・田村 晃^{*3}・後藤克典^{*4}：画像処理によるエダマメの選別方法に関する研究(第2報)－試作エダマメ選別機の性能評価－, 農業機械学会誌, 73(2), 127～134, 2011. (*¹山形大学, *²株山本製作所, *³秋田県農林水産技術センター, *⁴山形県農業総合研究センター)
- a-02. G. Maharjan, T. Takahashi, S. H. Zhang: Classification Methods Based on Pattern Discrimination Models for Web-Based Diagnosis of Rice Diseases, Journal of Agricultural Science and Technology A1, 48～56, 2011.
- d-01. 松井佳之・福地 博・張 樹槐：分光データのPLSDA解析に基づくリンゴ果実打撲傷の判別に関する研究, 第70回農業機械学会年次大会講演要旨, 436-437, 2011.
- d-02. Xuan LUO, Teruo TAKAHASHI, ShuHuai ZHANG: AUC-based wavelength selection of vis/NIR spectroscopy for bruise detection of Fuji, 第70回農業機械学会年次大会講演要旨, 438～439, 2011.
- d-03. 張 樹槐・瓦井悟朗・福地 博：赤外線サーモグラフィによるジャガイモと異物の識別に関する研究, 平成23年度農業機械学会東北支部大会研究発表会要旨集, 7～8, 2011.
- d-04. 佐々木裕生・荒川 修・張 樹槐：リンゴ果実のポリフェノール含有量予測への分光計測技術の応用, 平成23年度農業機械学会東北支部大会研究発表会要旨集, 25～26, 2011.
- d-05. Xuan Luo, Teruo Takahashi, Shu-Huai Zhang: AUC-based wavelength selection of vis/NIR spectroscopy for bruise detection of Fuji, Fifth anniversary Memorial Symposium for Mutual Exchange Program between Faculty of Agriculture and Life Science, Hirosaki University and College of Agronomy and Biotechnology, China Agricultural University, 33, 2011.
- d-06. Yoshiyuki Matsui, Hiroshi Fukuchi, Shuhuai Zhang: PLSDA-based analysis of spectra for detection of bruises on apples, Fifth anniversary Memorial Symposium for Mutual Exchange Program between Faculty of Agriculture and Life Science, Hirosaki University and College of Agronomy and Biotechnology, China Agricultural University, 34, 2011.
- f-01. 張 樹槐：リンゴ果実の機械選果や果実品質の非破壊測定について, 平成22年藤崎農場公開講座「リンゴを科学する」テキスト, 21～25, 2010.

川崎 通夫

- a-01. Kinoshita, H., Nagasaki, J., Yoshikawa, N., Yamamoto, A., Takito, S., Kawasaki, M., Sugiyama, T., Miyake, H., Weber, A.P.M. and Taniguchi, M.: The chloroplastic 2-oxoglutarate/malate transporter has dual function as the malate valve and in carbon/nitrogen metabolism. The Plant Journal, 65: 15-26, 2011.
- a-02. Iijima, M., Yoshida, T., Kato, T., Kawasaki, M., Watanabe, T. and Somasundaram, S.: Visualization of lateral water transport pathways in soybean by a time of flight-secondary ion mass spectrometry cryo-system. Journal of Experimental Botany, 62: 2179-2188, 2011.
- a-03. 乗田理恵・西村さつき・千田峰生・川崎通夫：ダイズ種皮における色素蓄積様式に関する組織・細胞学的検討, 日本作物学会東北支部会報, 53: 41-43, 2010.
- a-04. Ferdose, J., Kato, T., Kawasaki, M., Taniguchi, M. and Miyake, H.: Vertical distribution of sodium in root of rice plants exposed to salinity as analyzed by cryo time-of-flight secondary ion mass spectrometry. Plant Production Science 14: 215-218, 2011.
- d-01. Kawasaki, M., Kawamura, Y. and Ishikawa, R.: Analysis on the inner structure and appearance frequency of cracked rice grains in both the breeding and the recommended rice varieties in Aomori prefecture. 3rd

International Rice Congress (Hanoi, Vietnam), 2010.

- d-02. 川崎通夫・室崎文美子・木村駿佑: カルシウム濃度の異なる水耕処理がサトイモ一次根における結晶細胞の形態に及ぼす影響. 日本作物学会第232回講演会(山口大学), 2011.
- d-03. Kawasaki, M., Hosokawa, S., Yoshida, S., Takahashi, K. and Suto, H.: Relations between the amyloplast sedimentation in tubers and the morphogenesis of tubers in yams. The 7th Asian Crop Science Association Conference (Bogor, Indonesia), 2011.
- d-04. 田中康史・神祐太・川崎通夫・大河浩: ラン色細菌プロトン放出輸送体タンパク質過剰発現形質転換植物の生理生長解析. 日本植物学会第75回大会(東京大学), 2011.
- e-01. 殿内暁夫・藤田隆・渋谷長生・川崎通夫: 有用微生物菌を利用した土壌改良剤の作物に対する機能評価. 平成21年度ものづくり中小企業製品開発等支援補助金(実証等支援事業)に係る補助事業の実績報告書, 2010.
- f-01. 川崎通夫: 米食味の評価方法および米を良食味化するための留意点. 地域連携推進室活動に係る資料.(田舎館村産業課), 2010.

本多 和茂

- a-01. 本多和茂・石川幸男^{*1}: 白神山地に自生するシラネアオイの種子繁殖に関わる基礎的研究. 白神研究第8号. 2011. (*¹弘前大白神)
- a-02. 本多和茂・石川幸男^{*1}: 白神山地に自生するシラネアオイの生活史戦略—開花と個体サイズ—に関する基礎的研究. 白神研究第8号. 2011. (*¹弘前大白神)
- d-01. 本多和茂・前田智雄・加藤淳太郎^{*1}・星野洋一郎^{*2}・後藤 聡^{*3}・鹿内靖浩^{*4}・佐々木和也^{*5}: シネンシス系デルフィニウム4倍体系統‘青フラ Del 12号’と2倍体品種との正逆交雑および胚珠培養で見出された一側性3倍体形成とその特性. 園芸学会平成23年度秋季大会(岡山大学), 2011. (*¹愛知教育大, *²北大大方生物園セ, *³青森産業技セりんご研, *⁴青森上北地域県民局, *⁵青森農林水産部)
- d-02. 佐藤悠輔・前田智雄・本多和茂・嵯峨絃一・石川隆二・秋田祐介^{*}・野澤 樹^{*}・長谷谷純宏^{*}・鳴海一成^{*}: イオンビーム照射を行った‘弘前在来’トウガラシの照射次代における変異の発現. 園芸学会平成23年度秋季大会(岡山大学), 2011. (*原子力機構・量子ビーム)
- d-03. 前田智雄・柴田早紀子・類家明広・本多和茂・嵯峨絃一: 青森在来キュウリ‘糠塚キュウリ’の系統特性について. 園芸学会東北支部平成23年度大会(秋田市), 2011.
- d-04. Kanehara R.^{*1}, M. Hayashi^{*1}, M. Ikeda^{*2}, K. Honda, T. Nogami^{*3}, T. Wagatsuma^{*4}, J. Kato^{*5} and M. Mii^{*1}: Variation of DNA contents in *Primula jesoana*. 国際植物会議(IBC2011)(オーストラリア・メルボルン), 2011. (*¹ Graduate School of Horticulture, Chiba University, *² Bioscience and Biotechnology Center, Nagoya University, *³ Hakusan Nature Conservation Center, *⁴ Rakuno Gakuen University, *⁵ Department of Biology, Aichi University of Education)
- d-05. 前田智雄・小村晶紀・小野いずみ・本多和茂・地子 立^{*1}・白井正利^{*2}・橋本寛隆^{*3}・山口貴之^{*4}: ホワイトアスパラガス若茎中の protodioscin 含量に及ぼす軟白方法及びジャスモン酸メチル処理の影響. 園芸学会平成23年度春季大会(宇都宮大学), 2011. (*¹北海道大院環境科学院, *²(株)ファームホロ, *³岩手農研セ)
- d-06. 山岸洋貴^{*1}・藤原久司^{*2}・本多和茂: 多年生草本植物エゾエンゴサクにおける葉形態変異の集団間比較. 第58回日本生態学会大会(札幌), 2011. (*¹弘前大白神, *²ズコーシャ)

前田 智雄

- a-01. Kitazawa, H., S. Motoki, T. Maeda, Y. Ishikawa, Y. Hamauzu, K. Matsushima, H. Sakai, T. Shiina¹, Y. Kyutoku. Effects of Storage Temperature on the Postharvest Quality of Three Asparagus Cultivars Harvested in Spring. J. Japan. Soc. Hort. Sci. 80 (1): 161-167. 2011.
- a-02. Suzuki, T., T. Maeda, S. Nomura, M. Suzuki, G. Grant, P. Sporns. Rapid Analysis of Fructans And Comparison of Fructan Profiles in Several Different Types of Asparagus Storage Roots Using MALDI-TOF MS. J. Hort. Sci. Biotech. 86 (3): 210-216. 2011.
- a-03. 元木 悟・北澤裕明・前田智雄・久徳康史. 密植栽培がムラサキアスパラガス‘パープルパッション’の収量および生育に及ぼす影響. 園芸学研究 10 (1): 81-86. 2011.
- a-04. 音喜多啓秀・前田智雄・嘉見大助・中野英樹・鈴木 卓・鈴木正彦. ギョウジャニンニク伏せ込み栽培における萌芽期の系統間差. 植物環境工学. 23 (1): 12-17. 2011.
- c-01. 元木 悟・前田智雄・井上勝弘・山口貴之・渡辺慎一・松永邦則・尾崎行生・浦上敦子・甲村浩之・佐藤達雄・

- 荒木肇・北澤裕明. 世界のアスパラガス生産の現状と展望 (1) 1. 世界および日本のアスパラガス生産の動向. 農業および園芸. 86 (7): 775-783. 2011.
- c-02. 前田智雄・元木 悟・井上勝弘・園田高広・松永邦則・尾崎行生・佐藤達雄・甲村浩之・荒木 肇・浦上敦子・山口貴之. 世界のアスパラガス生産の現状と展望 (2) 2. ホワイトアスパラガス生産の先進国, オランダにおけるアスパラガス生産. 農業および園芸. 86 (8): 874-878. 2011.
- c-03. 元木 悟・渡辺慎一・山口貴之・松永邦則・前田智雄・尾崎行生・竹内陽子・荒木 肇・地子 立・井上勝弘・佐藤達雄・浦上敦子. 世界のアスパラガス生産の現状と展望 (3) 3. 急速に拡大するペルーのアスパラガス生産. 農業および園芸. 86 (9): 961-972. 2011.
- c-04. 元木 悟・松永邦則・前田智雄. ペルーにおけるアスパラガス生産. 長野園芸研究. 41: 68-69. 2010.
- d-01. Tomikawa, M., T. Maeda, K. Honda, K. Saga, R. Ishikawa, Y. Akita, R. Yoshihara, S. Nozawa, I. Narumi. Effects of Ion-beam Irradiation on Germination and Growth of Seedlings of Red Pepper 'Hirosaki zairai'. JAEA-Review 2010-65 (日本原子力研究開発機構 高崎量子応用研究所 研究年報 2009): 73. 2011.
- d-02. 前田智雄・小村晶紀・小野いずみ・本多和茂・地子 立・白井正利・橋本寛隆・山口貴之. ホワイトアスパラガス若茎中の protodioscin 含量に及ぼす軟白方法及びジャスモン酸メチル処理の影響. 園芸学会 園学研, 10別1: 165. 2011.
- d-03. 地子 立・白井正利・橋本寛隆・木島誠二・前田智雄・荒木 肇. 収穫最終年におけるホワイトアスパラガス長期収穫体系の検討. 園芸学会 園学研, 10別1: 167. 2011.
- d-04. 前田智雄・柴田早紀子・類家明広・本多和茂・嵯峨紘一. 青森在来キュウリ '糠塚キュウリ' の系統特性について. 園芸学会東北支部会 研究発表要旨: 35-36. 2011.
- d-05. 元木 悟・前田智雄・宮野幸一郎・小竹優人・吉田清志・五味文誠・芹澤啓明・北澤裕明・坂崎孝志・酒井浩明・中村憲太郎・神山栄次. アスパラガスの栽培法の違いが若茎の形状および機能性成分に及ぼす影響. 園芸学会 園学研, 10別2: 216. 2011.
- d-06. 佐藤悠輔・前田智雄・本多和茂・嵯峨紘一・石川隆二・秋田裕介・吉原亮平・野澤 樹・鳴海一成. イオンビーム照射を行った '弘前在来' トウガラシの照射次代における変異の発現. 園芸学会 園学研, 10別2: 421. 2011.
- d-07. 本多和茂・前田智雄・加藤淳太郎・星野洋一郎・後藤 聡・鹿内靖浩・佐々木和也. シネンシス系デルフィニウム4倍体系統 '青フラ Del 12号' と2倍体品種との正逆交雑および胚珠培養で見出された一側性3倍体形成とその特性. 園芸学会 園学研, 10別2: 533. 2011.

松崎 正敏

- a-01. 近藤真大・王 鳳鵬・木村 中・小笠原陵・房 家琛・鈴木裕之・松崎正敏: アルコール発酵型リンゴ粕サイレージ採食後のサフォーク種めん羊の血糖値低下について. 日本綿羊研究会誌, 47: 13-19, 2010.
- a-02. Fang, J., Matsuzaki, M., Suzuki, H., Xu, C., Cai, Y., Horiguchi, K., Takahashi, T.: Fermentation quality, digestibility and unhulled rice excretion of forage paddy rice silage prepared by different harvester types. Grassland Science, 57: 23-27, 2011.
- a-03. Kamiya, M., Matsuzaki, M., Hattori, I., Hayashi, Y., Tsuneishi, E., Kamiya, Y., Suzuki, T., Tanaka, M., Sato, K.: Effects of increased milk replacer feeding during the suckling period on growth and fattening performance of Holstein steers. Journal of Warm Regional Society of Animal Science, Japan, 54: 107-116, 2011.
- a-04. Fang, J., Matsuzaki, M., Suzuki, H., Wusiman, Y., Goto, M., Horiguchi, K., Takahashi, T.: Effects of adding a monosodium glutamate fermented by-product on the fermentation quality of whole crop rice (*Oryza sativa* L.) silage, digestibility and ruminal fermentation in beef cattle. Grassland Science, 57: 107-112, 2011.
- d-01. Kondo, M., Moriuchi, H., Fang, J., Suzuki, H., Matsuzaki, M.: Postprandial hypoglycemia after feeding of alcohol-fermented apple pomace silage. The 2011 American Dairy Science Association-American Society of Animal Science Joint Annual Meeting (New Orleans, LO, USA), 2011. 7. 10-14.
- d-02. 松崎正敏: 地域循環飼料を利用した赤身肉生産について. 日本産肉研究会第8回学術集会青森大会 (北里大学), 2011. 8. 24-25.
- d-03. 房 家琛・佐藤奈々恵・近藤真大・森内晴也・木村 中・鈴木裕之・松崎正敏: 産出後の貯蔵日数の異なるリンゴ粕を用いて調製したリンゴ粕混合サイレージの発酵品質. 日本畜産学会114回大会 (北里大学), 2011. 8. 26-27.
- d-04. 木村 中・近藤真大・森内晴也・房 家琛・鈴木裕之・松崎正敏: リンゴ粕混合サイレージ中のエタノールと血糖値低下との関連. 日本畜産学会114回大会 (北里大学) 2011. 8. 26-27.
- d-05. 森内晴也・房 家琛・近藤真大・鈴木裕之・松崎正敏: エタノール含量が異なるリンゴ粕混合サイレージの嗜好

性. 日本畜産学会114回大会(北里大学) 2011. 8. 26-27.

- d-06. 柴 伸弥・松崎正敏・房 家琛・白戸 賢・高橋信二・小笠原陵・鈴木裕之・今成麻衣・米内美晴・樋口幹人・渡辺彰: リンゴ粕アルコール発酵飼料の給与が羊肉の理化学的特性および官能評価に及ぼす影響. 日本畜産学会114回大会(北里大学) 2011. 8. 26-27.
- d-07. 梶嶋克哉・吉永大輔・房 家琛・松崎正敏・鈴木裕之: ハムスター初期胚における細胞周期依存的なミトコンドリア分布の制御機構. 日本畜産学会114回大会(北里大学) 2011. 8. 26-27.
- d-08. 小田純平・梶嶋克哉・加藤愛子・房 家琛・松崎正敏・鈴木裕之: プタ卵母細胞の成熟に伴う中間径繊維, ケラチンとビメンチンの分布変化. 第61回東北畜産学会大会(青森市) 2011. 9. 8-9.
- d-09. 高橋信二・小笠原陵・房 家琛・木村 中・森内晴也・近藤真大・鈴木裕之・松崎正敏: サフォーク種めん羊のリンゴ粕混合サイレージ給与肥育が肉質および屠体成績に及ぼす影響. 第61回東北畜産学会大会(青森市) 2011. 9. 8-9.
- d-10. 柴 伸弥・松崎正敏・房 家琛・木村 中・近藤真大・鈴木裕之・今成麻衣・米内美晴・樋口幹人・渡辺 彰: りんごジュース粕アルコール発酵飼料の給与が黒毛和種肥育牛の腰最長筋の肉質および官能評価に及ぼす影響. 第61回東北畜産学会大会(青森市) 2011. 9. 8-9.
- e-01. 松崎正敏: メタボリックプログラミング. 畜産技術, 672: 45, 2011.
- e-02. 松崎正敏・房 家琛: リンゴジュース粕を活用した地域特産飼料による特産牛肉・ラム肉の生産. 畜産技術, 674: 24-27, 2011.

福地 博

- d-01. 松井佳之・福地 博・張 樹槐: 分光データのPLSDA解析に基づくリンゴ果実打撲傷の判別に関する研究. 第70回農業機械学会年次大会講演要旨. 436-437. 2011. 9.

田中 紀充

- a-01. Jijun Li, Sadao Komori, Ken Sasaki, Naozumi Mimida, Shogo Matsumoto, Masato Wada, Junichi Soejima, Yuji Ito, Tetsuo Masuda, Norimitsu Tanaka, Narumi Shigeta, Manabu Watanabe, Akira Suzuki: Pre-culture before Agrobacterium infection to leaf segments and Meropenem improves the transformation efficiency of apple (*Malus × domestica* Borkh.). J. Japan. Soc. Hort. Sci., 80: 244-254, 2011.
- a-02. Naozumi Mimida, Ayano Ureshino, Norimitsu Tanaka, Narumi Shigeta, Noriko Sato, Yuki Moriya-Tanaka, Hiroshi Iwanami, Chikako Honda, Akira Suzuki, Sadao Komori, Masato Wada: Expression patterns of several floral genes during flower initiation in the apical buds of apple (*Malus × domestica* Borkh.) revealed by *in situ* hybridization. Plant Cell Rep., 30 (8): 1485-1492, 2011.
- b-01. 田中紀充: りんごわい化栽培と剪定枝の現状. 泉谷眞実編著『未利用バイオマスとしてのりんご剪定枝の活用戦略[増補改訂版]』弘前大学出版会: 17-24, 2011.
- d-01. 和田雅人・田中紀充・耳田直純・本多親子・守谷友紀・工藤和典・小森貞男: クラス B 遺伝子抑制開花促進リンゴの解析. 園学研. 10別1: 83. 平成23年度園芸学会春季大会(宇都宮大学), 2011.
- d-02. 加藤 藍・孟 玉平・曹 秋芬・村松 昇・渡邊 学・和田雅人・佐藤 守・吉川信幸・田中紀充・壽松木章・小森貞男: 除雄, 受精, 種子形成等がリンゴの果実肥大に及ぼす影響. 園学研. 10別1: 279. 平成23年度園芸学会春季大会(宇都宮大学), 2011.
- d-03. 工藤秀平・田中紀充・和田雅人・守谷(田中)友紀・阿部和幸・小森貞男・荒川 修: リンゴの交配処理における受精が果実肥大と果実品質に及ぼす影響. 園学研. 10別1: 280. 平成23年度園芸学会春季大会(宇都宮大学), 2011.
- d-04. 工藤秀平・田中紀充・和田雅人・守谷(田中)友紀・阿部和幸・小森貞男・荒川 修: リンゴの品種間における種子形成が果実品質に及ぼす影響. 園学研. 10別1: 281. 平成23年度園芸学会春季大会(宇都宮大学), 2011.
- d-05. 荒川 修・辻 健太・田中紀充: リンゴ果実の成熟開始と進行に及ぼすエチレンの影響. 園芸学会東北支部平成23年度研究発表要旨. 23-24, 2011.
- d-06. 田中紀充, 工藤秀平, 松本省吾, 守谷(田中)友紀, 荒川 修: 受粉がリンゴの果実肥大に及ぼす影響. 園学研. 10別2: 376. 平成23年度園芸学会秋季大会(岡山大学), 2011.

【食農経済コース】

神田 健策

- a-01. 宋 曉凱・神田健策：中国における農民專業合作社の現状と課題－山東省の農民專業合作社の実態に基づく－. 2010年度日本農業経済学会報告論文集. 日本農業経済学会：472-478, 2010年12月.
- a-02. 神田健策・大橋 治：日本型農協における総合経営と共販型総合農協の意義－小さなりんご村の総合農協・JA相馬村の実践－. 2010年(北京)東亜農民專業合作經濟組織發展模式的困境与出路国際論壇. 163-168, 2011年3月.
- b-01. 長谷川啓哉・神田健策：いわて中央農協による産地形成. 中嶋信編著：自治体農政の新展開. 自治体研究社, 85-108, 2011年7月.

渋谷 長生

- a-01. 渋谷長生・葛西由佳：ナマコ輸出拡大に伴うナマコ産地・加工業者の対応と課題～青森県陸奥湾を中心として～. 弘前大学農学生命科学部学術報告第13号：39-59, 2011. 2.
- a-02. 渋谷長生：生協産直提携における共同と競争の関係. 「農村経済研究」第29巻第1号：63-70, 東北農業経済学会, 2011. 8.
- f-01. 渋谷長生：農業生産基盤整備をどう考えるか. あおもり農業61巻10号, 青森県農業改良普及会：90-91, 2010. 10.
- f-02. 渋谷長生：生協産直の力の源は何か. あおもり農業61巻11号, 青森県農業改良普及会：76-77, 2010. 11.
- f-03. 渋谷長生：「清水森ナンバラー油焼きそば」全国へ出陣. あおもり農業61巻12号, 青森県農業改良普及会：82-83, 2010. 12.
- f-04. 渋谷長生：環太平洋連携協定(TPP)へ日本は参加か不参加か, 新聞各社も議論百出. あおもり農業62巻1号, 青森県農業改良普及会：82-83, 2011. 1.
- f-05. 渋谷長生：農業のグランドデザインを考える. あおもり農業62巻2号, 青森県農業改良普及会：70-72, 2011. 2.
- f-06. 渋谷長生：青森県は国内葉たばこ生産の中心となっている. あおもり農業62巻3号, 青森県農業改良普及会：72-73, 2011. 3.
- f-07. 渋谷長生：手厚い助成と仲間意識がたばこ農家を支えている. あおもり農業62巻4号, 青森県農業改良普及会：102-103, 2011. 4.
- f-08. 渋谷長生：東日本大震災に想う. あおもり農業62巻5号, 青森県農業改良普及会：90-91, 2011. 5.
- f-09. 渋谷長生：放射能風評被害にどう立ち向かうか－青森県産農林水産物の安全性証明体制の構築－. あおもり農業62巻6号, 青森県農業改良普及会：72-74, 2011. 6.
- f-10. 渋谷長生：放射能風評被害にどう立ち向かうか－東日本大震災被災地のいち早い復旧・復興を願う－. あおもり農業62巻7号, 青森県農業改良普及会：100-101, 2011. 7.
- f-11. 渋谷長生：被災地復興の新たな取り組み始まる－食のみやぎ復興ネットワークの結成－. あおもり農業62巻8号, 青森県農業改良普及会：74-75, 2011. 8.
- f-12. 渋谷長生：元気な農村女性には隠された理由がある. あおもり農業62巻9号, 青森県農業改良普及会：84-85, 2011. 9.
- f-13. 渋谷長生：2010年農林業センサスが示すこと1～統計では最近の農業の姿が大きく変わっているようだ～. あおもり農業62巻10号, 青森県農業改良普及会：78-79, 2011. 10.

石塚 哉史

- a-01. 磯野貴志*・数納朗**・石崎和之***・小泉隆文****・石塚哉史：讃岐うどんチェーン店における店舗立地の今日的展開に関する一考察. 『日本うどん学会誌』日本うどん学会(7)：42-52, 2010年12月. (*神奈川県立平塚農業高等学校, **アグリ・ビズ・コミュニケーション, ***流通システム研究センター, ****東京福祉大学)
- a-02. 石塚哉史：日系食品企業における中国国内向け販売戦略の今日的展開. 『農業市場研究』日本農業市場学会(78)：41-46, 2011年9月.
- c-01. 西尾漠*・小島あずさ**・並河信太郎***・石塚哉史・脇坂弘明****・竹本伸*****・積田綾子*****・北城陸美*****：環境・公害と食教育. 『日本の教育—第60集—』アドバンテージサーバー：231-242, 2011年7月. (*原子力資料情報室, **JEANクリーンアップ全国事務局, ***相愛大学, ****石川県教職員組合, *****広島県高等学校教職員組合, *****神奈川県教職員組合, *****沖縄県教職員組合)
- d-01. 石塚哉史：ながいも産地における輸出戦略の再編. 2011年度日本農業市場学会大会(於：鹿児島大学)：2011年7月3日.

- d-02. 成田拓未*・石塚哉史：中国における輸入果実消費の現状—広州市高所得者のりんご消費実態調査結果—。2011年度日本農業市場学会大会(於：鹿児島大学)：2011年7月3日。(※弘前大学特別研究員)
- d-03. 石塚哉史：安代りんどうにおける輸出戦略の現段階と課題—岩手県八幡平市の事例を中心に—。第47回東北農業経済学会大会(於：秋田県社会福祉会館)：2011年9月3日。
- e-01. 石塚哉史：食の問題。『2010年全国集会報告集』日本教職員組合母と女性教職員の会：72-74, 2010年11月。
- e-02. 石塚哉史：東北地方におけるこんにゃく製造業者の販路確保に関する実態調査結果。『平成22年度特定畑作物等需要確保対策事業(こんにゃくいも)販路確保事業報告書』財団法人日本こんにゃく協会：36-56, 2011年3月。
- f-01. 石塚哉史：国際化時代のりんご生産・販売について—TPP参加による津軽農業への影響—。つがる弘前農業協同組合「大鰐地区総代連絡協議会全体研修会」(於：あづましの宿関の湯)：2011年1月5日。
- f-02. 石塚哉史：食の問題。日本教職員組合「2011年憲法・平和・教育を守る母と女性教職員の会全国集会」(於：日本教育会館)：2011年8月2日。

泉谷 眞実

- a-01. 泉谷眞実：農業資材市場と静脈産業。『農業市場研究』第19巻第3号：26-36, 2010年12月。
- a-02. 泉谷眞実：廃食油の発生構造とバイオディーゼル燃料事業化の課題—青森県における事業所アンケート結果の分析—。『弘前大学農学生命科学部学術報告』第13号：1-5, 2010年12月。
- b-01. 泉谷眞実編著：『未利用バイオマスとしてのりんご剪定枝の活用戦略[増補改訂版]』。弘前大学出版会, 2011年7月。
- d-01. 泉谷眞実：食品廃棄物問題の要因と政策対応を考える。日本科学者会議 第18回総合学術研究集会 分科会報告, 2010年11月21日, 於：宮城県仙台市。
- d-02. 泉谷眞実：2010年農林業センサスからみる東北農業の構造。第47回東北農業経済学会秋田大会シンポジウム, 2011年9月2日, 於：秋田市。
- e-01. 『平成22年度 地域間・法人間就業調整活動促進事業報告書』(共著)2011年3月, 全国農業会議所。
- f-01. 泉谷眞実：りんご剪定枝に対する生産者の意向。「りんごフォーラム～こんなに使える剪定枝～」, 2011年2月23日, 於：青森県弘前市。
- f-02. 泉谷眞実：2010年農林業センサスからみる東北農業の構造。『第47回東北農業経済学会秋田大会 報告要旨』2011年9月, P9-24。

吉仲 怜

- a-1. 吉仲 怜：農商工連携・6次産業化の論点整理と事例評価。農村経済研究, 第29巻第1号, 東北農業経済学会：4-13, 2011。
- a-2. 長門雄治^{*}・吉仲 怜：鳥獣被害対策における電気柵管理の実態と方向性—青森県西目屋村を事例に—。農業経営研究, 第49巻第2号, 日本農業経営学会：105-110, 2011。(※岩手大学大学院連合農学研究科)
- e-1. 吉仲 怜：秋田県北部の事例をもとにした飼料用米生産の農業経営と地域社会に与える効果との比較。『自給飼料を基盤とした国産畜産物の高付加価値化技術の開発』, 農林水産省委託プロジェクト研究 平成22年度 課題成績書：313-314, 2011。
- f-1. 吉仲 怜：地域農業マネジメントとは。「営農・販売担当者研修会」における研修講師, 青森県農業協同組合中央会：2011.06。

【地域環境工学科】**泉 完**

- a-01. 泉 完, 神山公平*, 藤原正幸**: 全面越流型階段式魚道プール内の流況と魚の遊泳行動－岩木川取水堰の全面越流型階段式魚道を事例にして－, 農業農村工学会論文集, No.269: 127-13, 2010, 10. (* (株)建設技術研究所東京本社, **愛媛大学農学部)
- a-02. 泉 完, 加藤 幸: 河川水を用いたヤマメ稚魚の臨界遊泳速度に関する実験, 農業農村工学会論文集, No.273: 1-6, 2011. 6.
- d-01. 泉 完・加藤 幸: ヤマメ稚魚の臨界遊泳速度に関する実験, 平成22年度農業農村工学応用水理研究部会講演集, 1-6, 2010. 12.
- d-02. 泉 完・山村真弘*・加藤 幸・東 信行: 高速流条件におけるヤマメ稚魚の遊泳速度と尾ひれの運動, 平成23年度農業農村工学会大会講演要旨集, 124-125, 2011. 9. (*JR東日本仙台支社)
- d-03. 泉 完・大田敏貴: 河川におけるスタミナトンネルを用いたシロウオの遊泳能力について, 平成23年度農業農村工学会大会講演要旨集, 126-127, 2011. 9.

工藤 明

- a-01. 庄司 諭*・倉島栄一**・工藤 明: 分布型流出モデルのパラメータからみたブナ原生林流域の洪水流出の特徴, 農業農村工学会論文集 No.275: 51-58, 2011. (*岩手大学大学院連合農学研究科, **岩手大学農学部)
- d-01. 工藤 明・高橋康平・倉島栄一*: 世界自然遺産白神山地における保水能力と水質浄化機能について, 日本水資源化システム学会第18回研究発表会講演要旨: 1-4, 2010. (*岩手大学農学部)
- d-02. 高橋康平・工藤 明: 白神山地における流出と水質特性(2), 農業農村工学会東北支部第53回研究発表会要旨: 118-121, 2010.
- e-01. 工藤 明: 平成22年度農業用水水源林水質調査報告書, 青森県農林水産部, 全83頁, 2011.

佐々木 長市

- a-01. S. K. PAUL, C. SASAKI, N. MATUYAMA, K. NODA* and B. K. MITRA**, Influence of percolation patterns on growth and yield of rice plants and uptake of cadmium from polluted paddy fields using soil dressing models, *Pedologist*, Vol.54 (3): 222-229, 2011. 3. (*弘前大学理工学部, **大成建設研究所)
- a-02. 佐々木長市・松山信彦・佐瀬 隆*・殿内暁夫・Shymal Kumarr Paul・野田香織*・山岸洋貴**: 白神山地の土壤に関する研究(8), 白神研究第8号, 50-51, 2011. 9. (*北方ファイトリス研究所, **弘前大学理工学部, ***弘前大学白神自然環境研究所)
- c-01. 佐々木長市: 白神山地で活躍する人々 ―産業編―, 弘前大学白神自然環境研究所編, 弘前大学白神自然環境研究所: 1, 2011. 3.
- c-02. 佐々木長市: 白神自然観察園の植物 ―(2)きのこ―, 弘前大学白神自然環境研究所編, 弘前大学白神自然環境研究所, 1, 2011. 3.
- c-03. 佐々木長市: 白神自然観察園の動物 ―(2)フィールドサイン―, 弘前大学白神自然環境研究所編, 弘前大学白神環境研究所, 1, 2011. 3.

高橋 照夫

- a-01. G. Maharjan, T. Takahashi, S. H. Zhang: Classification Methods Based on Pattern Discrimination Models for Web-based Diagnosis of Rice Diseases. *Journal of Agricultural Science and Technology A*, Vol.1 (1): 48-56, 2011. 5. (ISSN: 2161-6256, Earlier title: *Journal of Agricultural Science and Technology*, ISSN: 1939-1250)
- d-01. Xuan LUO, Teruo TAKAHASHI, Shuhuai ZHANG: AUC-based wavelength selection of vis/NIR spectroscopy for bruise detection of Fuji. 第70回農業機械学会年次大会講演要旨: 438-439, 2011. 9. (ISSN: 1347-6467)

檜垣 大助

- a-01. 小森次郎・小池 徹・檜垣大助・Phuntsho Tshering: 2009年のブータンの自然災害―地象・水象・気候災害―, *自然災害科学* 29 (2): 233-243, 2010.
- a-02. 檜垣大助・阿部真郎: 地形・地質情報を活用した地すべり災害箇所調査, *日本地すべり学会誌* 48 (2), 19-25, 2011.

- a-03. 檜垣大助・東日本大震災東北合同学術調査委員会(社)日本地すべり学会東北支部調査チーム：東北地方太平洋沖地震における東北地方の斜面災害発生状況, 日本地すべり学会誌 48 (3), 52-54, 2011.
- d-01. 檜垣大助・佐々木清志・工藤聖皇：青森県八甲田山域での自然環境に配慮した地すべり対策, 平成23年度砂防学会研究発表会概要集, 14-15, 2011.
- d-02. 檜垣大助・古澤和之・井上公夫・白石陸弥：寛政西津軽地震による白神山地追良瀬川での天然ダムの形成, 第50回日本地すべり学会研究発表会講演集, 27-28, 2011.
- d-03. 阿部真郎・檜垣大助：2011年東北地方太平洋沖地震に伴って発生した地すべりの地形・地質的特徴, 第50回日本地すべり学会研究発表会講演集, 3-4, 2011.
- d-04. 佐藤 剛・梅村 順・檜垣大助・宮城豊彦・八木浩司：平成23年福島県いわき市を震源とする震度6弱の内陸地震に伴う地すべり・崩壊, 第50回日本地すべり学会研究発表会講演集, 183-184, 2011.
- d-05. Ugyen W., Komori, J, Higaki, D., Phuntsho t., Sato, G., Fujita, K. and Nishimura, K.: Glacial lake outburst flood and its countermeasures in Bhutan. Abst. Proceedings of 5th, Int. Conf. on Flood Management, 260, 2011.
- f-1. 檜垣大助：身近なフィールドでの防災・環境学習で若者を育てる, 砂防と治水, 194, 9-11, 2010.
- f-2. 檜垣大助：日本とネパールの砂防技術協力 — JICA プロジェクト技術協力と成果の活用一, 砂防と治水, 199, 22-25, 2011.

萩原 守

藤崎 浩幸

- a-01. 藤崎浩幸：山村留学後の留学生と里親の交流実態—秋田県旧A町M学園における事例調査—, 農村計画学会誌, vol.29 論文特集号, 167-172, 2010. 11.
- a-02. 齋藤朱未・藤崎浩幸：個人経営の農家レストラン開業状況と経営者性別による相違—東北地方を対象として—, 農村計画学会誌, vol.29 論文特集号, 197-202, 2010. 11.
- d-01. 齋藤朱未・藤崎浩幸・千葉慎也：教育旅行の受入れ農家による共同調理意識と生徒の反応—青森県H団体の調査より—, 農村計画学会春期大会学術発表会要旨集, 46-47, 2011. 4.
- d-02. 齋藤朱未・藤崎浩幸・田中ゆい：グリーン・ツーリズム実践者の活動意識とその背景, 平成23年度農業農村工学会大会講演会発表要旨集, CD-ROM, 2011. 9.

加藤 幸

- a-01. 泉 完・加藤 幸：河川水を用いたヤマメ稚魚の臨界遊泳速度に関する実験, 農業農村工学会論文集, Vol.79. 3, 1-6, 2011. 06.
- a-02. 佐々木長市・松山信彦・佐瀬 隆*・殿内暁夫・Shyamal Kumar Paul・松岡嗣彦**・加藤 幸・野田香織***：白神山地の土壌に関する研究(7), 白神研究, Vol.7, 39-48, 2011. 6. (*北方ファイトリス研究室, **白神山地自然ガイド, ***弘前大学大学院理工学研究科)
- d-01. 加藤 幸・佐藤江里子*・森奈緒子・岸 知彦・伊藤 哲**・三石正一***・溝口 勝*：農地モニタリングによるリング園地の施肥管理手法の検証. 2010年土壌物理学大会講演要旨, 2010. 10. (*東京大学大学院農学生命科学研究科, **クロスアビリティ(株), *** (株)アイネクス)
- d-02. 佐藤江里子*・森奈緒子・岸 知彦・伊藤 哲**・三石正一***・加藤 幸・溝口 勝*：農地モニタリングを用いたリングの開花日予測手法の検討. 平成22年度農業農村工学会東北支部大会講演要旨, 104-105, 2010. 11. (*東京大学大学院農学生命科学研究科, **クロスアビリティ(株), *** (株)アイネクス)
- d-03. 森奈緒子・岸 知彦・佐藤江里子*・伊藤 哲**・三石正一***・加藤 幸・溝口 勝*：農地モニタリングによるリング園地の地温変化に関する考察. 平成22年度農業農村工学会東北支部大会講演要旨, 106-107, 2010. 11. (*東京大学大学院農学生命科学研究科, **クロスアビリティ(株), *** (株)アイネクス)
- d-04. 岸 知彦・佐藤江里子*・森奈緒子・伊藤 哲**・三石正一***・加藤 幸・溝口 勝*：ニューラルネットによる農地の天候予測の可能性. 平成22年度農業農村工学会東北支部大会講演要旨, 108-109, 2010. 11. (*東京大学大学院農学生命科学研究科, **クロスアビリティ(株), *** (株)アイネクス)
- d-05. 加藤 幸・岸 知彦・森奈緒子・佐藤江里子*・伊藤 哲**・三石正一***・土居良一*・溝口勝*：地温データからみた園地環境の検討と栽培管理への応用. 農業情報学会大会2011年度大会要旨, 95-96, 2011. 5. (*東京大学大学院農学生命科学研究科, **クロスアビリティ(株), *** (株)アイネクス)
- d-06. 岸 知彦・加藤 幸・森奈緒子・佐藤江里子*・土居良一*・溝口 勝*：簡易モニタリングシステムによるリン

ゴ収穫適期の判断方法. 平成23年度農業農村工学会大会講演要旨 CD, 2011. 9. (*東京大学大学院農学生命科学研究科)

- d-07. 佐藤江里子*・加藤 幸・岸 知彦・伊藤 哲**・三石正一***・土居良一*・溝口 勝*：園地モニタリングデータを利用したリンゴ開花日予測手法の考案. 平成23年度農業農村工学会大会講演要旨 CD, 2011. 9. (*東京大学大学院農学生命科学研究科, **クロスアビリティ(株), *** (株) アイネクス)
- d-08. 泉 完・加藤 幸・東 信行・山村真弘：高速流条件におけるヤマメ稚魚の遊泳速度と尾ひれの運動. 平成23年度農業農村工学会大会講演要旨 CD, 2011. 9.

角野 三好

- d-01. 角野三好・城内 剛・山口裕介：地下水流動実験における Hele-shaw Modelの改良に関する研究. 平成22年度農業農村工学会東北支部大会講演要旨, 2010. 11.

遠藤 明

- d-01. 遠藤 明・内野 平・中川拓哉：マサ土樹園地における表層土壌間隙水の無機態窒素の挙動. 平成23年度農業農村工学会大会講演会, (九州大学), 2011.

【生物共生教育研究センター】

伊藤 大雄

- a-01. 石田祐宣・伊藤大雄：白神山地フラックスタワーにおける気象概況とその考察（2008年11月～2009年10月）. 白神研究, 7: 27-38, 2010.
- a-02. Daiyu Ito, Sachinobu Ishida and Dai Matsushima: Evaluation and estimation of canopy heat storage fluxes in an apple orchard. J. Agric. Meteorol., 67: 33-42, 2011.
- d-01. 伊藤大雄：リンゴ平棚仕立て栽培の可能性と今後の課題. 平成22年度寒冷地果樹研究会資料：39-42, 2011年2月3日（盛岡市）.
- d-02. 伊藤大雄・石田祐宣：一般気象データによる果樹園の日別融雪潜熱量の推定. 園芸学会東北支部研究発表要旨：9-10, 2011年9月11日（秋田市）.
- e-01. 杉浦裕義・伊藤大雄：果樹園生態系における炭素収支の解明. 研究成果483「地球温暖化が農林水産業に及ぼす影響評価と緩和及び適応技術の開発」, 農林水産技術会議事務局, pp.113-117, 2011.
- f-01. 伊藤大雄：リンゴの減農薬栽培と農薬ドリフトの軽減. 公開講座「リンゴを科学する」（生物共生教育研究センター主催）講演要旨：26-33, 2010年12月6日.
- f-02. 伊藤大雄：今年の気象と農業生産. つがる弘前農協組合員研修会, 2010年12月26日.

姜 東鎮

- a-01. Kang, D.J., Y.J. Seo, K. Futakuchi, P. Vijarnsorn, R. Ishii: Effect of aluminum toxicity on flowering time and grain yield on rice genotypes differing in Al-tolerance. J. Crop Sci. Biotech., 2011. (*In press*)
- a-02. Kang, D.J., K. Futakuchi, Y.J. Seo, P. Vijarnsorn, R. Ishii: Relationship of Fe-tolerance to morphological changes in roots in upland NERICA lines under Fe-treated hydroponic condition. J. Crop Sci. Biotech., 2011. (*In press*)
- a-03. Kang, D.J., Y. Ishii, A. Nishiwaki: Effects of the shoot-cutting method on field propagation in napiergrass (*Pennisetum purpureum* Schum.). J. Crop Sci. Biotech., 14: 139-142, 2011.
- a-04. Kang, D.J., Y.J. Seo, K. Ujii, P. Vijarnsorn, R. Ishii. 2011: Agronomic and tolerant performance of acid soil-tolerant wild soybean (*Glycine soja* Sieb. and Zucc.) in acid sulfate soil of Thailand. Plant Prod. Sci., 14: 156-163, 2011.
- a-05. Higo, M., K. Isobe, D.J. Kang, T. Maekawa, R. Ishii: Molecular diversity and spore density of indigenous arbuscular mycorrhizal fungi in acid sulfate soil in Thailand. Ann. Microbiol., 61: 383-389, 2011.
- d-01. 濱野琴美・石井康之・山野明日香・森康太郎・井戸田幸子・姜 東鎮・中野邦弘・谷口 彰・西脇亜也：ネピアグラス (*Pennisetum purpureum* Schumach) 栽培による重金属汚染土壌の低コスト浄化技術の開発. 九州農業研究発表会第74回那覇大会, 2011.
- e-01. 石井康之・Lizah Khairani・山野明日香・姜 東鎮・井戸田幸子・西脇亜也：バイオエタノール生産のためのネピアグラスの特性評価および栄養繁殖効率の向上に関する研究（その1. 特性評価および栄養繁殖効率に関する研究）. 「高機能触媒反応によるバイオマス資源のバイオ燃料及びバイオ有価物への変換プロセスの開発」特別経費成果報告書. 2011年.
- e-02. 姜 東鎮・石井康之・西脇亜也：バイオエタノール生産のためのネピアグラスの特性評価および栄養繁殖効率の向上に関する研究（その2. ネピアグラスの土耕苗生産における成長点細断の影響）. 「高機能触媒反応によるバイオマス資源のバイオ燃料及びバイオ有価物への変換プロセスの開発」特別経費成果報告書. 2011年.
- f-01. 姜 東鎮：ファイトレメディエーションのメリットと応用—ファイトレメディエーション植物の条件とは—, 「産学連携による有用資源作物を活用した農地の低コスト浄化技術の開発」. 第4回みやざき産学連携研究会セミナー招聘講演. 2011年3月.

松本 和浩

- a-01. 松本和浩・中田 昇・鷹見敏彦・田村文男. シンテツポウユリ (*Lilium × formolongi* hort.) 種子の高温による発芽不揃いの原因. 園芸学研究. 9. 427-431. 2010.
- a-02. 松本和浩・平松 渚・田淵俊人. 白神山地に自生するノハナショウブに関する研究（第1報）深浦町行合崎に自生するノハナショウブの外部形態と花色の変異に関する研究. 白神研究. 7. 14-19. 2010.
- a-03. 松本和浩・平松 渚・田淵俊人. 白神山地に自生するノハナショウブに関する研究（第2報）秋田県藤里町素波里

- 湖に自生するノハナショウブの外部形態と花色の変異に関する研究. 白神研究. 7. 20-26. 2010.
- a-04. Oanh, V.T.K., K. Matsumoto, Y-S. Hwang and J-P. Chun. Changes of cell wall polysaccharides during berry ripening in grapes (*Vitis* spp.). Hort. Environ. Biotechnol. 51: 513-519. 2010.
- a-05. Sonoki, T., K. Matsumoto, K. Jindo, H. Sudo and Y. Sasaki. Characterization of Biochar-blended composting of the regional waste biomass. Transactions of the MRS-J. 35: 909-912. 2010.
- a-06. 五十嵐恵・初山慶道・松本和浩・塩崎雄之輔. DNA鑑定による赤肉系リンゴ新品種‘紅の夢’の親品種の同定. 弘前大学農学生命科学部学術報告. 13: 7-13. 2010.
- a-07. 竹村圭弘・須藤幸子・池田隆政・松本和浩・田村文男. ニホンナシ‘ゴールド二十世紀’の芽の自発休眠は低温によって導入される. 園芸学研究. 10: 87-92. 2011.
- a-08. 松本和浩・神藤恵史・須藤弘毅・須藤宏樹・佐々木嘉幸・園木和典. 青森県で排出される有機性廃棄物に木炭, 木酢液を混入して作製した堆肥がハツカダイコンの生育に及ぼす効果. 木質炭化学会誌. 7: 63-67. 2011.
- d-01. Suto, K., T. Kougo, K. Kimura, J. Fang, K. Matsumoto, Y. Sasaki, K. Jindo, M. A. Sanchez-Monedero, M. Aoyama, and T. Sonoki. Characterization of biochar-blended composting for carbon offset. 20th MRS-J academic symposium (Yokohama). 2010.
- d-02. 田淵俊人・定延葉子・平松 渚・松本和浩. ノハナショウブの変異性に関する研究(第24報). 日本各地に自生するノハナショウブにおける葉のATPase活性の局在性と消長. 日本園芸学会春季大会(宇都宮大学). 2011.
- d-03. 松本和浩・向後智陽・田村文男・平松 渚・田淵俊人. ノハナショウブの変異性に関する研究(第25報). 青森県津軽地域で発見されたピンク花色を有するノハナショウブの変異個体について. 日本園芸学会春季大会(宇都宮大学). 2011.
- d-04. 向後智陽・百瀬健太・石田誠孝・岩本賢治・吉村典朗・平松 渚・田淵俊人・松本和浩. ノハナショウブの変異性に関する研究(第26報). 秋田県大館市に多数現存するノハナショウブ自生地の特徴. 日本園芸学会春季大会(宇都宮大学). 2011.
- d-05. 百瀬健太・向後智陽・岩本賢治・吉村典朗・平松 渚・田淵俊人・松本和浩. ノハナショウブの変異性に関する研究(第27報). 岩手県安比高原周辺に自生するノハナショウブの外部形態と花色の変異に関する研究. 日本園芸学会春季大会(宇都宮大学). 2011.
- d-06. 向後智陽・松本和浩・須藤宏樹・神藤恵史・佐々木嘉幸・園木和典・Sanchez-Monedero, M.A. 木炭を製造過程で混入して作成した堆肥がナガネギの生育に及ぼす効果. 第9回木質炭化学会大会(秋田市). 2011.
- d-07. 定延葉子・松本和浩・田淵俊人. ノハナショウブの変異性に関する研究(第28報)葉姿の地域変異と耐塩性との関係. 日本園芸学会秋季大会(岡山大学). 2011.
- d-08. 田村文男・松本和浩・田淵俊人. ノハナショウブの変異性に関する研究(第29報)鳥取県大山周辺, 岡山県蒜山高原に自生するノハナショウブの外部形態, 花色について. 日本園芸学会秋季大会(岡山大学). 2011.
- d-09. 松本和浩・向後智陽・田村文男・鳥居保邦・田淵俊人. ノハナショウブの変異性に関する研究(第30報)青森県津軽半島に自生するノハナショウブの外部形態, 花色について. 日本園芸学会秋季大会(岡山大学). 2011.
- e-01. 松本和浩・辻 渉. リンゴおよびナシ台木種の耐乾性および耐塩性に関する生理学的研究. 平成22年度鳥取大学乾燥地研究センター共同利用研究成果報告書. 2011.
- e-02. 松本和浩. 希釈海水を用いたニホンナシ, リンゴ栽培方法の確立 ~耐塩性台木の選抜とそのメカニズムの解明~. 平成22年度 ソルト・サイエンス研究財団助成研究報告書. 2011.
- e-03. 松本和浩. 地域遺伝資源「ノハナショウブ」の絶滅回避に向けた遺伝子バンクの設立と園芸植物化に関する歴史的過程の解明. 平成22年度 弘前大学若手萌芽研究実績報告書. 2011.
- f-01. 松本和浩. 洋なしゼネラルレクラークの溶液受粉について. ゼネラルレクラーク, ふじの果実品質を調査しよう. 弘前大学「科学者発見プロジェクト」共同研究講師. 名久井農業高校. 2010.
- f-02. 松本和浩. 地域植物資源を生かしたフィールド園芸学~果肉が赤いリンゴ・ノハナショウブの研究から~. 第10回八戸高専と弘前大学とのシーズ提案会. 八戸. 2011.
- f-03. 五十嵐恵・初山慶道・松本和浩・塩崎雄之輔・今 智之・赤田朝子・工藤 剛・後藤 聡. 品種識別技術を利用した本県オリジナル品種の交雑親推定. 平成22年度青森県産業技術センター工業部門研究成果発表会(青森市). 2011.
- f-04. 松本和浩・向後智陽・平松 渚・田淵俊人. 素波里湖に自生するノハナショウブの多様な変異と園芸学的な活用の可能性. 白神研究会平成22年度研究報告会(弘前市). 2011.
- f-05. 松本和浩. 農業でわかるすてきな日本. りんご王国こうぎょくカレッジ. FMアップルウェーブ. 弘前. 2011.
- f-06. 松本和浩. リンゴの赤ちゃんこんにちは!リンゴの摘果. 生物共生教育研究センター主催親子体験学習講師.

2011.

- f-07. 松本和浩. 弘前大学附属小学校りんご栽培体験学習講師. 2011.
- f-08. 松本和浩. 消える農村の原風景 ノハナショウブを守れ! ABS News every. 秋田放送. 2011. 7. 19.
- f-09. 松本和浩. 中里産炭入り堆肥は高品質なブランド野菜作りに最適&中泊町で発見されたピンク花色変異型ノハナショウブ ‘つがるの藤姫’ を町おこしに活用しよう. 青森県中小企業家同友会. 津軽支部・青森支部合同例会. 2011.
- f-10. 松本和浩. 江戸の花菖蒲と青森の豊かな自然資源とのかかわり. 中泊町三水会講師. 2011.
- f-11. 松本和浩. リンゴ樹の塩ストレス耐性について ~津波被害は今後どう影響するのか?~. りんごの道. 1: 25-27. 2011.

房 家琛

- a-01. Fang JC, Matsuzaki M, Suzuki H, Yimiti W, Goto M, Horiguchi K, Takahashi T: Effects of adding a monosodium glutamate fermented by-product on the fermentation quality of whole crop rice (*Oryza sativa* L.) silage, digestibility and ruminal fermentation in beef cattle. *Grassl. Sci.* 57 (2): 107-112, 2011.
- a-02. Fang JC, Matsuzaki M, Suzuki H, Xu CC, Cai YM, Horiguchi K, Takahashi T: Fermentation quality, digestibility and unhulled rice excretion of forage paddy rice silage prepared by different harvester types. *Grassl. Sci.* 57 (1): 23-27, 2011.
- a-03. 近藤真大・王 鳳鵬・木村 中・小笠原陵・房 家琛・鈴木裕之・松崎正敏: アルコール発酵型リンゴ粕サイレージ採食後のサフォーク種めん羊の血糖値低下について. 日本緬羊研究会誌47: 13-19, 2010.
- d-01. 房 家琛・佐藤奈々恵・近藤真大・森内晴也・木村 中・鈴木裕之・松崎正敏: 産出後の貯蔵日数の異なるリンゴ粕を用いて調製したリンゴ粕混合サイレージの発酵品質. 日本畜産学会第114回大会(北里大学), 2011.
- d-02. 樺嶋克哉・吉永大輔・房 家琛・松崎正敏・鈴木裕之: ハムスター胚における細胞周期依存的なミトコンドリア分布の制御機構. 日本畜産学会第114回大会(北里大学), 2011.
- d-03. 森内晴也・房 家琛・近藤真大・鈴木裕之・松崎正敏: エタノール含量が異なるリンゴ粕混合サイレージの嗜好性. 日本畜産学会第114回大会(北里大学), 2011.
- d-04. 木村 中・近藤真大・森内晴也・房 家琛・鈴木裕之・松崎正敏: リンゴ粕混合サイレージ中のエタノールと血糖値低下との関連. 日本畜産学会第114回大会(北里大学), 2011.
- d-05. 柴 伸弥・松崎正敏・房 家琛・白戸 賢・高橋信二・小笠原陵・鈴木裕之・今成麻衣・米内美晴・樋口幹人・渡辺 彰: リンゴ粕アルコール発酵飼料の給与が羊肉の理化学特性および官能評価に及ぼす影響. 日本畜産学会第114回大会(北里大学), 2011.
- d-06. 高橋信二・小笠原陵・房 家琛・木村 中・森内晴也・近藤真大・鈴木裕之・松崎正敏: サフォーク種めん羊にリンゴ粕混合サイレージの給与と肥育が肉質および屠体成績に及ぼす影響. 東北畜産学会第61回大会(青森), 2011.
- d-07. 小田純平・樺嶋克哉・加藤愛子・房 家琛・松崎正敏・鈴木裕之: 豚卵母細胞の成熟に伴う中間径繊維, ケラチンとビメンチンの分布変化. 東北畜産学会第61回大会(青森), 2011.
- d-08. 柴 伸弥・松崎正敏・房 家琛・木村 中・白戸 賢・近藤真大・鈴木裕之・今成麻衣・米内美晴・樋口幹人・渡辺 彰: リンゴ粕アルコール発酵飼料の給与が羊肉の理化学特性および官能評価に及ぼす影響. 東北畜産学会第61回大会(青森), 2011.